

鉄鋼需給の動き

2025 年 12 月

一般社団法人日本鉄鋼連盟

日本経済は今後の緩やかな回復が期待されるものの、足元も内外需とともに力強さを欠いている。7-9月期のGDP成長率(二次速報)は住宅投資や輸出などが下押しし、季調済前期比0.6%減と6期ぶりのマイナス成長となった。経済指標をみると、需要面では総消費動向指数(10月)が、16カ月連続増も緩やかな伸びに止まっている。また、民間設備投資の先行指標となる機械受注(9月)は3カ月ぶりに前月から増加したが、基調判断は「持ち直しの動きに足踏みがみられる」に据え置かれたほか、輸出数量指数(10月)は前月比で2カ月ぶりに低下した。供給面では、鉱工業生産指数(10月、速報)が自動車工業や、無機・有機化学工業の上昇などにより、2カ月連続で前月比上昇となったものの、先行きについては製造工業生産予測調査において11月、12月ともに低下予測となっている。

海外経済を見ると、米国は、多くの統計公表の遅延により動向把握に難しさはあるが、関税賦課に伴う物価上昇、雇用情勢の減速感などが懸念されつつも、消費は底堅さを示している。中国は、消費喚起策の効果の薄れや投資の減速などにより内需の減退が色濃くなるなか、輸出も米国向けを中心とし減少に転じている。欧州は、域内外の政情不安や関税引上げによる外需の減少など下押しリスクはあるものの、雇用環境やインフレ率の安定による個人消費の改善など底堅い内需が経済を下支えしている。

国内鉄鋼需要産業では、建設業では、10月の新設住宅着工戸数(前年同月比3.2%増)が7カ月ぶりに増加も、非住宅着工床面積(同8.0%減)は5カ月連続で前年割れとなった。製造業では、鉱工業生産指数(10月)の生産用機械は2カ月ぶりの低下、汎用・業務用機械は2カ月連続の上昇となった。四輪車生産台数(10月、乗用車・トラック計、同0.4%減)は2カ月連続で減少した。こうしたなか、国内鉄鋼統計を見ると、10月の粗鋼生産(速報、685万トン、前年同月比1.0%減)は7カ月連続で減少も、普通鋼鋼材生産(速報、471万トン、同0.9%増)は10カ月ぶりに増加した。普通鋼鋼材出荷は、国内向け(301万トン、同4.0%減)、輸出向け(168万トン、同0.7%減)ともに減少し、出荷計(469万トン、同2.9%減)では2カ月連続の減少となった。

海外鉄鋼市場について、10月の世界粗鋼生産は前年同月比5.9%減の1億4,330万トンと2カ月連続で減少し、うち、中国は同12.1%減の7,200万トンと6カ月連続で減少した。但し、中国国内の鋼材需給は緩和したままであり、鋼材輸出が同12.5%減の978万トンと、28カ月ぶりに減少したものの、依然として高水準であり、1-10月累計(前年同期比6.6%増、9,734万トン)では16年の同期(9,274万トン)を上回り、過去最高となっている。

当面の経済及び鉄鋼需給の下振れリスクとして、米国をはじめとする各国の通商政策、中国の過去最高ペースの鋼材輸出などが挙げられる。こうしたリスクを踏まえ、引き続き内外経済及び鉄鋼需給の動向を注視する必要がある。

1.経済動向

- ・12月の日銀短観は、業況判断指数(DI)は、大企業製造業は1ポイント上昇の+15、先行きは3ポイント上昇の+15の見込み。大企業非製造業は横ばいの+34、先行きは6ポイント低下の+28。
- ・10月の小売業販売額は前年同月比1.7%増と2カ月連続で増加、同月の総消費動向指数は前年同月比0.6%増と17カ月連続の上昇。
- ・11月の乗用車販売は前年同月比7.5%減の28.1万台と5カ月連続の減少。小型車が増加したものの、普通車、軽四輪がともに減少。
- ・10月の機械受注は前月比7.0%増と2カ月連続の増加。基調判断は「持ち直しの動きがみられる」に上方修正。
- ・10月の鉱工業生産は2カ月連続で前月比上昇。基調判断は「一進一退」を維持。先行きは、11月、12月ともに低下を予測。

2.鉄鋼需要産業動向

(建設部門)

- ・土木:10月の土木工事受注額は、公共土木が前年同月比13.4%増と2カ月連続の増加。民間土木は同22.2%増と8カ月連続の増加。
- ・建築:10月の新設住宅着工戸数は前年同月比3.2%増と7カ月ぶりの増加。非住宅着工床面積は同8.0%減と5カ月連続の減少。

(製造業部門)

- ・自動車:10月の四輪車生産は前年同月比0.3%減の81.4万台と2カ月連続で減少。
- ・産業機械:10月の生産用機械は前年同月比6.8%減と2カ月ぶりの低下、汎用・業務用機械は同2.1%増と2カ月連続で上昇。
- ・造船:11月の輸出船契約量は前年同月比2.6倍の61.2万G/Tと2カ月ぶりの減少。同月末の手持工事量は2,898万G/T。

3.鋼材受注

- ・普通鋼:10月の内需は前年同月比2.5%増の289万トンと2カ月連続で増加。
- ・特殊鋼:10月の内需は前年同月比1.4%減の84万トンと3カ月ぶりの減少。

4.鉄鋼需給(生産・出荷・在庫)

- ・粗鋼生産:11月の粗鋼生産(速報)は前年同月比1.6%減の677万トンと8カ月連続の減少となった。
- ・鋼材生産:11月の普通鋼鋼材生産(速報)は前年同月比0.6%減の456万トンと2カ月ぶりの減少。9月の特殊鋼鋼材生産は同1.2%増の128万トンと3カ月連続の増加。
- ・出荷:10月の普通鋼鋼材国内向け出荷は、前年同月比5.1%減の298万トンと3カ月ぶりの減少。9月の特殊鋼鋼材国内向け出荷は同2.3%減の89万トンと2カ月ぶりの減少。
- ・在庫:10月末の普通鋼鋼材国内在庫は505万トンと前月末比2カ月連続の減少。9月の特殊鋼鋼材在庫は160万トンと3カ月ぶりの減少。

5.鋼材輸入、鋼材流通

- ・10月の鋼材輸入は、前年同月比15.3%減の42万トンと2カ月連続の減少。

6.鉄鋼輸出

- ・11月の全鉄鋼輸出(速報)は、前年同月比3.5%減の240万トンと2カ月ぶりの減少。

7.海外市場

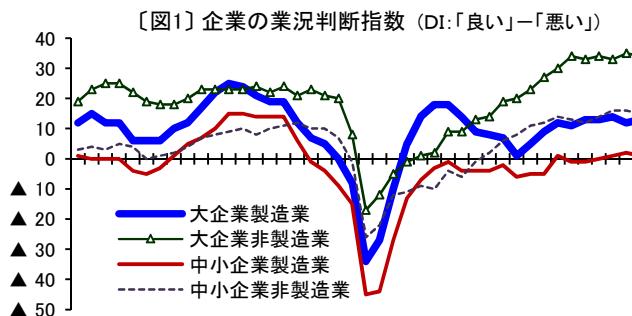
- ・世界粗鋼生産:10月(worldsteel、70カ国)の粗鋼生産は前年同月比5.9%減の1億4,330万トンと2カ月連続の減少。
- ・中国:2025年11月(国家統計局)の粗鋼生産は、前年同月比10.9%減の6,987万トン(日産量232.9万トン)。1-11月累計では前年同期比4.0%減の8億9,167万トン。11月の鋼材輸出は前年同月比7.6%増の998.0万トンと2カ月ぶりの前年同月比増加、1-11月累計では前年同期比6.7%増の1億772万トンと2015年同期の1億174万トンを上回り、過去最高を更新。同月の鋼材輸入は前年同月比4.9%増の49.6万トンと9カ月ぶりの前年同月比増加、1-11月累計では前年同期比10.5%減の554.1万トン。

1. 経済動向

—10月の鉱工業生産は2カ月連続で上昇、先行きは11月、12月はともに低下の見込み—

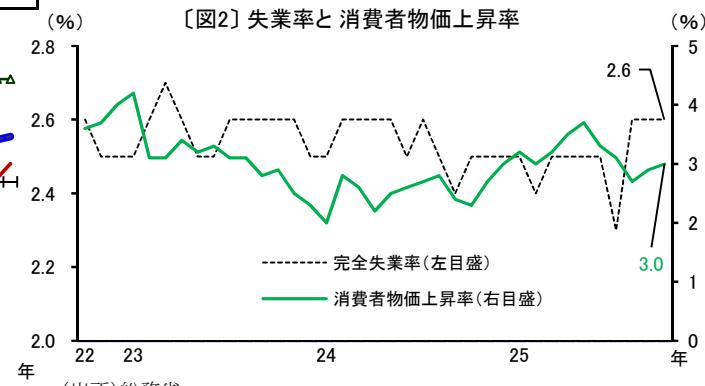
・日銀の12月短観によると、企業の景況感を示す業況判断指数(DI)は、大企業製造業は前回(9月)から1ポイント上昇の+15となり、先行きは3ポイント上昇の+15の見込み。なお、大企業非製造業は前回から横ばいの+34(先行きは6ポイント低下の+28)、中小企業製造業が前回から5ポイント上昇の+6(先行きは4ポイント低下の+2)、中小企業非製造業は前回から1ポイント上昇の+15(先行きは5ポイント低下の+10)となった。

・10月の完全失業率は前月から横ばいの2.6%。
・10月の消費者物価指数上昇率(生鮮食品を除く総合、前年同月比)は前月から0.1ポイント上昇の+3.0%。



(出所)日本銀行「短観(短期経済観測調査)」

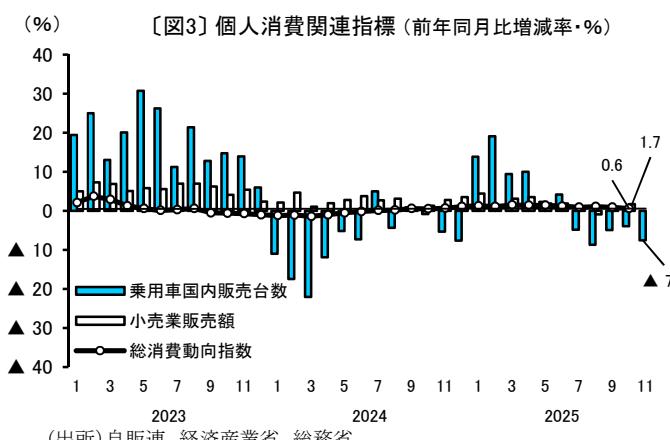
(注)15年3月調査および18年3月調査にて、調査対象企業が見直された。
14年12月から17年9月までは、15年3月調査で見直されたベースの値。
17年12月以降は、18年3月調査で見直されたベースの値。



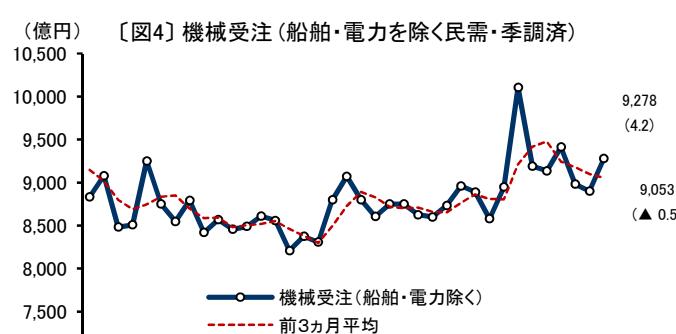
(出所)総務省

・11月の乗用車販売(除・輸入車)は前年同月比7.5%減と5カ月連続の減少。小型車が4カ月ぶりにプラスだったものの、普通車が9カ月連続、軽四輪が3カ月ぶりとなった。
・10月の小売業販売額は前年同月比1.7%増と2カ月連続の上昇。
・同月の総消費動向指数(2020年基準、実質)は前年同月比0.6%増と17カ月連続のプラスとなった。

・10月の機械受注(船舶・電力を除く民需)は、全体では前月比(季調済)7.0%増の9,053億円と2カ月連続の増加。内訳は、製造業(13.3%減)は化学工業や情報通信機械等の減少により2カ月ぶりの減少、非製造業(28.8%増)は情報サービス業、リース業等の増加により4カ月ぶりの増加となった。基調判断は「持ち直しの動きがみられる」に上方修正された。



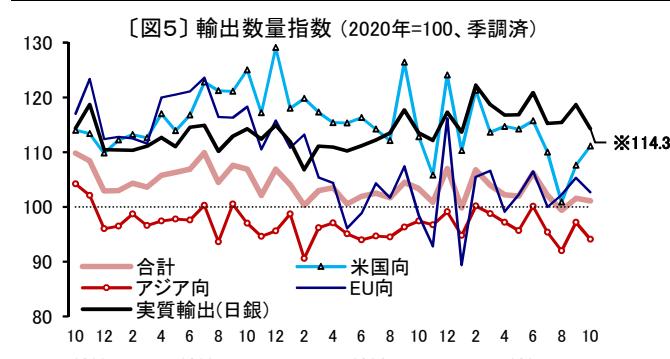
(出所)自販連、経済産業省、総務省



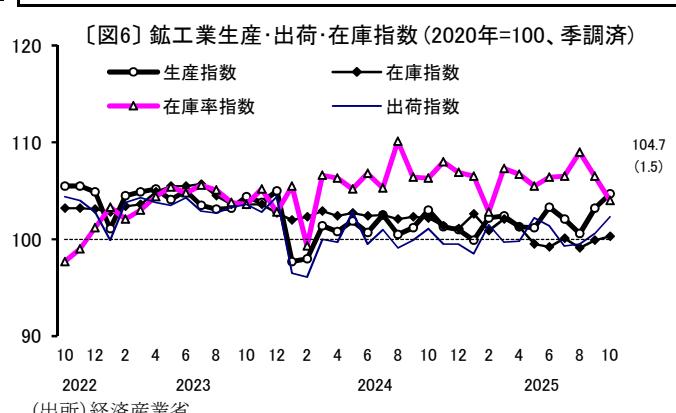
(出所)内閣府

・10月の輸出数量指数(季調済)は前月比0.4%減と2カ月ぶりの低下となった。向け先別では、米国向けは上昇したものの、アジア向け、EU向けが低下した。
・同月の実質輸出(日銀)は前月比3.7%減となった。

・10月の鉱工業生産(季調済)は、前月比(以下、同)1.5%増の104.7と2カ月連続で上昇した。業種別にみると、自動車工業、電気・情報通信機械工業、輸送機械工業(除、自動車工業)等が上昇した。製造工業生産予測調査は、11月は1.2%減、12月は2.0%減と予測。基調判断は「一進一退」を維持。出荷(102.3)は同1.7%増と上昇、在庫(100.3)は同0.4%増と上昇、在庫率(104.0)は2.3ポイント減と低下した。



(出所)財務省「貿易統計」を元に日本鉄鋼連盟にて季節調整。
(※)は日銀「実質輸出指標」(2020年=100、季調済)。



(出所)経済産業省

2. 鉄鋼需要産業動向

—11月の四輪車販売は5カ月連続のマイナス—

〈土木〉

○11月の公共土木工事前払金保証請負金額は前年同月比12.3%減の4,169億円と3カ月ぶりの減少

- ・発注者別には、国の機関(1.5%増・4カ月連続)が増加したものの、地方の機関(15.1%減・2カ月連続)が減少し、全体では前年同月比12.3%減の4,169億円と3カ月ぶりの減少となった。

○10月の公共土木工事受注額は前年同月比13.4%増の1兆2,683億円と2カ月連続の増加

- ・治山治水(3.3%減)、港湾空港(18.4%減)等が減少したものの、下水道公園(14.0%増)、上工業水道(2.2倍)等が増加し全体では前年同月比13.4%増の1兆2,683億円と2カ月連続の増加となった。

○10月の民間土木工事受注額は前年同月比22.2%増の4,831億円、8カ月連続の増加

- ・鉄道(68.7%増)、製造・鉱業・建設(58.6%増)、運輸通信(47.0%増)等が増加したことから、全体では前年同月比22.2%増の4,831億円と8カ月連続の増加となった。

〈建築〉

○10月の新設住宅着工戸数は前年同月比3.2%増の7.2万戸と7カ月ぶりの増加

- ・利用関係別には、持家(8.2%減・7カ月連続)が減少したものの、貸家(4.2%増・7カ月ぶり)、分譲(14.8%増・7カ月ぶり)が増加したことから、全体では3.2%増の7.2万戸と7カ月ぶりの増加となった。

・季節調整済年率換算着工戸数は80.3万戸となった。

○10月の非住宅着工床面積は前年同月比8.0%減の309万m²と5カ月連続の減少

- ・用途別では、商業・サービス(4.1%増)が増加したものの、鉱工業(1.8%減)、公益事業(41.4%減)、公務文教(3.7%減)等が減少したことから、全体では8.0%減の309万m²と5カ月連続の減少となった。
- ・使途別では、店舗(87.8%増)が増加したものの、事務所(18.1%減)、工場(0.5%減)、倉庫(42.7%減)が減少した。
- ・季節調整済年率換算着工床面積は3,593万m²となった。

〔表1〕建設関連統計指標

(単位: 億円, 千戸, %)

	公共土木工事前払金保証請負金額	土木工事受注額		新設住宅着工戸数				年率換算着工戸数			
		国の機関	地方	公共	民間	合計	持家	貸家			
2023年度	86,326	29,977	56,349	137,051	43,710	800.2	219.6	340.4	235.0	100.2	-
2024年度	86,633	29,176	57,457	140,959	48,949	816.4	223.2	357.1	229.5	105.2	-
2024年 7- 9月	22,654	5,381	17,273	38,966	9,696	203.4	58.8	91.5	51.3	21.2	787.1
10-12月	15,240	2,797	12,443	29,346	12,170	197.7	57.3	82.7	55.9	24.3	778.1
2025年 1- 3月	17,700	6,530	11,170	41,673	14,934	206.5	52.8	92.8	59.8	28.3	887.9
4- 6月	32,530	13,655	18,874	29,938	14,669	155.4	41.6	68.1	43.1	18.4	600.7
7- 9月	23,573	6,052	17,521	37,570	14,193	185.3	53.5	82.5	48.1	18.2	717.0
2025年 9月	8,740	2,426	6,314	15,387	5,972	63.6	18.3	28.5	16.4	6.1	728.4
10月	6,731	1,390	5,341	12,683	4,831	71.9	18.1	30.8	22.5	11.7	803.1
11月	4,169	792	3,377	-	-	-	-	-	-	-	-
2023年度	3.2	2.7	3.4	▲7.4	▲7.5	▲7.0	▲11.5	▲2.0	▲9.4	▲12.0	-
2024年度	0.4	▲2.7	2.0	2.9	12.0	2.0	1.6	4.9	▲2.3	5.0	-
2024年 7- 9月	0.6	▲2.5	1.6	11.5	▲3.4	▲2.0	▲3.9	2.5	▲8.1	▲2.8	▲2.6
10-12月	5.6	8.6	5.0	6.3	27.3	▲2.4	8.3	▲3.6	▲10.5	▲11.9	▲1.1
2025年 1- 3月	▲13.0	▲24.7	▲4.3	▲7.1	14.9	13.3	10.5	19.2	7.6	11.0	14.1
4- 6月	4.8	▲5.6	13.9	▲3.3	20.7	▲25.6	▲23.4	▲24.3	▲31.0	▲41.4	▲32.3
7- 9月	4.1	12.5	1.4	▲3.6	46.4	▲8.9	▲9.1	▲9.9	▲6.2	▲14.1	19.4
2025年 9月	6.8	18.2	3.0	6.3	52.5	▲7.3	▲5.6	▲8.2	▲8.3	▲20.0	2.4
10月	2.6	35.6	▲3.5	13.4	22.2	3.2	▲8.2	4.2	14.8	31.8	10.2
11月	▲12.3	1.5	▲15.1	-	-	-	-	-	-	-	-
4月からの累計	67,002	21,889	45,114	80,191	33,693	412.5	113.1	181.4	113.8	48.3	-
前年同期	65,011	21,655	43,356	81,123	25,800	481.9	132.8	211.1	133.4	61.5	-
増減量	1,992	234	1,757	▲932	7,893	▲69.4	▲19.7	▲29.7	▲19.7	▲13.2	-
前年同期比	3.1	1.1	4.1	▲1.1	30.6	▲14.4	▲14.8	▲14.1	▲14.7	▲21.4	-

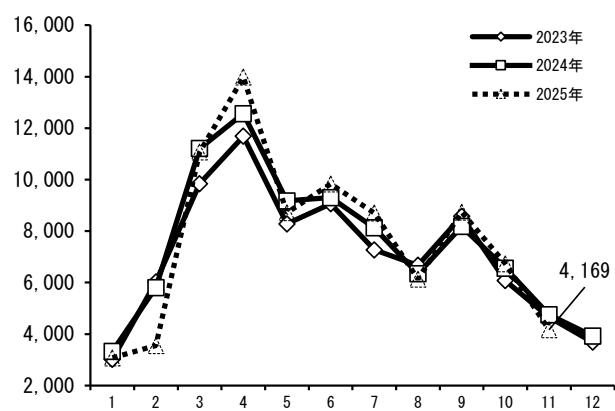
(出所) 保証事業会社協会、国土交通省

(注) 1. 土木工事受注額の公共土木は公共工事計から教育病院・住宅宿舎・庁舎その他を除いたもの。

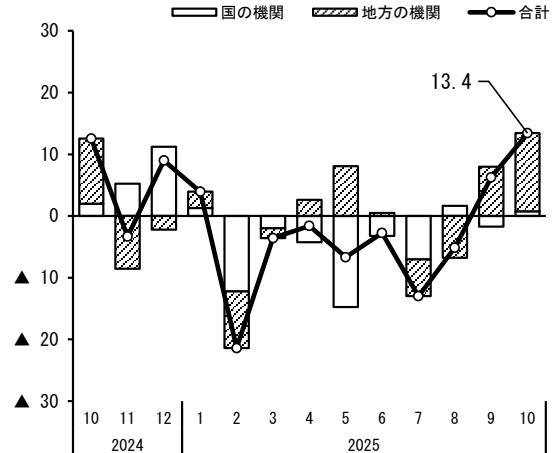
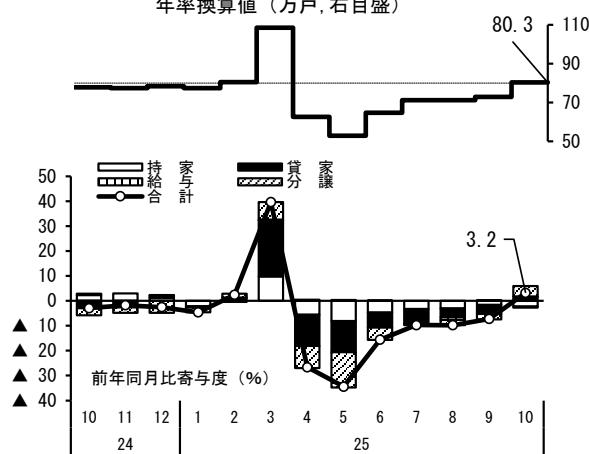
2. 年率換算着工戸数は前月(期)比増減率。

3. 土木工事受注額は、2021年4月より推計方法が変更されたため、それ以前とは接続しない。

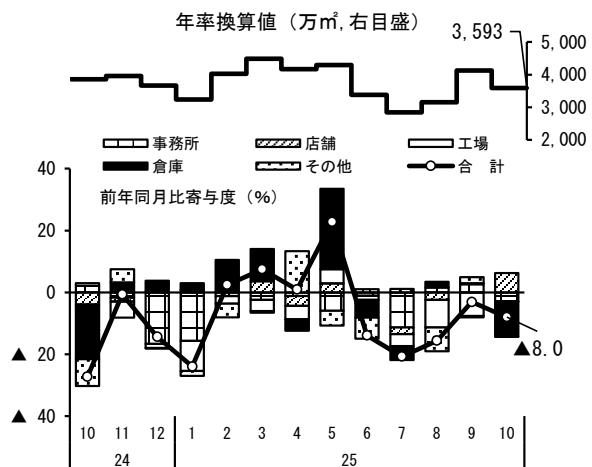
〔図7〕公共土木工事前払金保証請負金額（億円）



〔図8〕公共土木工事受注額（前年同月比寄与度・%）

〔図9〕新設住宅着工戸数
年率換算値（万戸、右目盛）

〔図10〕非住宅使途別着工床面積



〔表1〕建設関連統計指標（続）

(単位：万m²、%)

	建築着工 床面積計	居住用	非居住用	用途別				使途別				鋼構造建築着工床面積										
				(鉱工業)		(商業サービス)		(公益事業)		(公務文教)		(事務所)		(店舗)		(工場)		(倉庫)		S	R	C
				(鉱工業)	(商業サービス)	(公益事業)	(公務文教)	(事務所)	(店舗)	(工場)	(倉庫)	S	R	C	(事務所)	(店舗)	(工場)	(倉庫)				
2023年度	10,832	6,552	4,279	957	1,292	1,019	805	621	363	728	1,184	153	2,260	3,834								
2024年度	10,448	6,573	3,875	841	1,242	909	733	527	382	672	1,037	173	2,087	3,571								
2024年 7-9月	2,593	1,610	983	227	341	185	196	137	97	193	236	28	459	923								
10-12月	2,557	1,612	945	204	282	236	193	120	80	159	269	61	470	856								
2025年 1-3月	2,571	1,656	915	171	271	281	149	131	90	130	294	46	575	823								
4-6月	2,286	1,232	1,054	230	364	244	163	112	113	181	279	19	463	930								
7-9月	2,346	1,489	857	179	275	194	162	114	84	126	225	32	368	832								
2025年 8月	735	477	258	73	86	43	43	29	28	52	61	3	111	264								
9月	854	516	338	48	103	111	58	48	29	34	111	21	128	314								
10月	877	568	309	76	112	44	63	44	45	60	51	4	187	294								
2023年度	▲8.8	▲8.8	▲8.8	▲12.3	▲3.5	▲7.2	▲11.8	3.4	▲15.0	▲16.8	▲7.6	▲35.5	▲8.0	▲8.7								
2024年度	▲3.5	0.3	▲9.4	▲12.2	▲3.9	▲10.8	▲8.9	▲152	5.2	▲7.7	▲12.4	13.0	▲7.7	▲6.9								
2024年 7-9月	▲6.6	▲5.4	▲8.5	▲4.4	10.8	▲28.4	▲7.0	9.7	1.3	10.8	▲19.6	▲41.1	▲17.4	▲0.1								
10-12月	▲9.0	▲4.4	▲15.8	▲9.7	▲22.8	▲14.6	▲7.6	▲30.4	▲20.3	▲9.6	▲18.1	88.7	▲25.2	▲14.4								
2025年 1-3月	7.2	15.2	▲4.8	▲32.9	▲12.7	46.2	▲9.4	▲32.2	19.4	▲28.2	33.3	127.7	25.3	▲11.7								
4-6月	▲16.2	▲27.3	2.2	▲3.9	4.3	17.7	▲16.0	▲18.4	▲0.8	▲4.7	17.0	▲51.0	▲20.6	▲4.1								
7-9月	▲9.5	▲7.5	▲12.9	▲21.2	▲19.2	4.8	▲17.0	▲17.1	▲13.3	▲34.5	▲4.6	13.5	▲19.8	▲9.8								
2025年 8月	▲11.4	▲8.9	▲15.6	▲7.5	▲31.9	18.8	▲19.5	19.7	▲21.0	▲34.6	10.3	▲83.9	▲25.1	▲3.5								
9月	▲4.2	▲4.8	▲3.1	▲41.8	11.3	20.7	▲17.2	24.0	4.8	▲43.4	▲1.5	595.6	▲20.6	▲4.2								
10月	▲3.5	▲0.9	▲8.0	▲1.8	4.1	▲41.4	▲3.7	▲18.1	87.8	▲0.5	▲42.7	▲89.3	8.6	▲0.7								
4月からの累計	5,509	3,289	2,220	485	751	482	389	270	242	367	555	55	1,017	2,056								
前年同期	6,230	3,879	2,351	544	797	467	456	329	235	443	563	101	1,214	2,189								
増減量	▲720	▲589	▲131	▲59	▲48	15	▲67	▲59	7	▲76	▲8	▲46	▲196	▲132								
前年同期比	▲11.6	▲15.2	▲5.6	▲10.8	▲5.8	3.1	▲14.7	▲17.8	3.0	▲17.1	▲1.4	▲45.8	▲16.2	▲6.1								

(注1) 2025年1月から産業用建築物の用途分類における中区分が廃止されたことに伴い、用途別内訳の構成を過去に遡り変更した。

(注2) 用途別の「公益事業」は、国土交通省・建築着工統計の用途分類の「電気・ガス・熱供給・水道業用建築物」と「運輸業用建築物」を合計したもの。

＜自動車＞－10月の四輪車生産は2カ月連続でマイナス

○11月の国内販売(輸入車除く)は前年同月比5.6%減の34.2万台と5カ月連続のマイナス

- 11月の国内販売(輸入車除く)は、乗用車(7.5%減)は、小型車が4カ月ぶりでプラスだったものの、普通車が9カ月連続、軽四輪が3カ月ぶりでマイナスとなったことから、全体でも5カ月連続の減少となった。トラック(5.0%増)は、軽四輪が5カ月連続のマイナスとなったものの、普通車が2カ月連続、小型車が5カ月連続でプラスとなり、全体では2カ月連続での増加となった。バス(3.5%減)は、7カ月連続のマイナス。四輪車計(輸入車除く)では、前年同月比5.6%減の34.2万台と5カ月連続のマイナスとなった。

○10月の完成車輸出は前年同月比0.6%減の38.8万台と2カ月連続でのマイナス

- 10月の完成車輸出は、アジア向け(4.6%増)、オセアニア向け(2.3%増)が増加したものの、中近東向け(8.1%減)、欧州向け(15.6%減)、米国向け(1.8%減)などが減少したこと、全体では前年同月比0.6%減の38.8万台と2カ月連続でのマイナスとなった。
- 11月の米国新車販売は、前年同月比7.3%減の127.3万台と2カ月連続でマイナス。季調済・年率換算では1,560万台となった。また、11月の中国新車販売(中国汽車工業協会発表)は、前年同月比3.4%増の342.9万台と10カ月連続のプラスとなった。

○10月の四輪車生産計は前年同月比0.3%減の81.4万台と2カ月連続のマイナス

- 10月の生産について、乗用車(1.2%減)は、軽四輪が3カ月連続で増加したものの、普通車が2カ月連続、小型車が4カ月連続で減少したこと、全体では2カ月連続で減少した。トラック(5.0%増)は、軽四輪が4カ月連続のマイナスだったものの、普通車が2カ月連続、小型車が3カ月連続でプラスだとなったことから、全体では前年同月比5.0%増の10.3万台と2カ月連続で増加した。
- 四輪車計では前年同月比0.3%減の81.4万台と2カ月連続のマイナスとなった。

〔表2〕四輪車国内販売台数

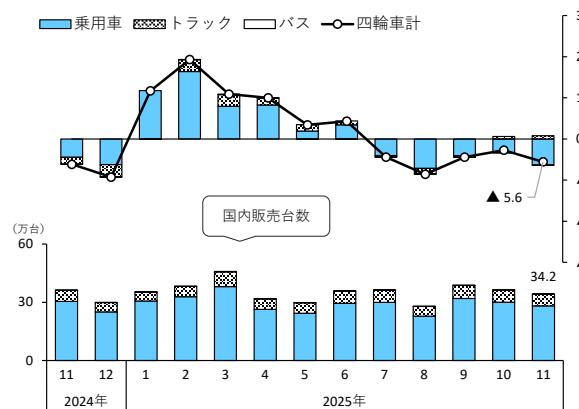
(単位:千台、%)

四輪車計	乗用車	国産車販売						輸入	国内販売計			
		普通車	小型車	軽四輪	トラック	普通車	小型車	軽四輪				
2023年度	4,217	3,525	1,464	801	1,260	683	129	188	366	9	311	4,529
2024年度	4,245	3,547	1,475	809	1,263	688	139	184	364	11	331	4,576
2024年 7-9月	1,091	902	363	213	326	187	36	50	100	3	81	1,172
10-12月	1,036	868	366	192	310	166	35	40	92	2	85	1,122
2025年 1-3月	1,195	1,016	421	230	365	176	37	50	89	4	90	1,285
4-6月	976	802	314	189	299	171	31	48	93	2	84	1,060
7-9月	1,031	848	333	192	323	180	34	53	93	2	89	1,120
2025年 9月	388	320	125	67	128	67	13	19	35	1	40	428
10月	365	301	118	69	114	64	11	19	33	1	30	395
11月	342	281	110	66	105	60	12	19	30	1	27	369
2023年度	3.4	5.6	21.8	▲7.1	▲1.0	▲7.0	13.5	▲6.0	▲13.0	49.7	1.2	3.3
2024年度	0.7	0.6	0.7	0.9	0.3	0.6	8.0	▲2.4	▲0.4	20.4	6.3	1.0
2024年 7-9月	1.2	0.7	0.3	0.9	1.2	3.0	1.8	0.2	5.0	26.8	3.7	1.3
10-12月	▲5.0	▲4.4	2.1	▲8.6	▲8.8	▲8.0	15.2	▲19.9	▲9.1	▲9.6	6.3	▲4.3
2025年 1-3月	13.7	13.7	3.4	26.2	20.1	13.3	10.1	21.6	10.5	24.3	12.5	13.6
4-6月	5.8	5.4	▲3.4	9.1	14.0	8.0	▲3.0	9.3	11.5	▲11.1	13.4	6.4
7-9月	▲5.6	▲6.0	▲8.2	▲9.9	▲0.8	▲3.6	▲6.0	6.4	▲7.6	▲20.7	10.5	▲4.5
2025年 9月	▲4.4	▲4.9	▲4.7	▲15.8	1.7	▲1.9	▲4.9	18.6	▲9.5	▲2.9	22.4	▲2.4
10月	▲2.7	▲4.0	▲9.1	▲10.7	7.2	3.6	2.9	39.8	▲9.6	▲13.5	11.5	▲1.8
11月	▲5.6	▲7.5	▲17.2	4.0	▲2.5	5.0	0.1	34.8	▲6.2	▲3.5	0.0	▲5.2
4月からの累計	2,713	2,233	875	516	842	475	88	139	248	5	232	2,945
前年同期	2,751	2,280	951	527	803	464	90	122	252	6	210	2,961
増減量	▲38	▲48	▲76	▲11	39	11	▲3	18	▲4	▲1	22	▲16
前年同期比	▲1.4	▲2.1	▲8.0	▲2.1	4.9	2.4	▲3.1	14.4	▲1.4	▲14.6	10.3	▲0.5

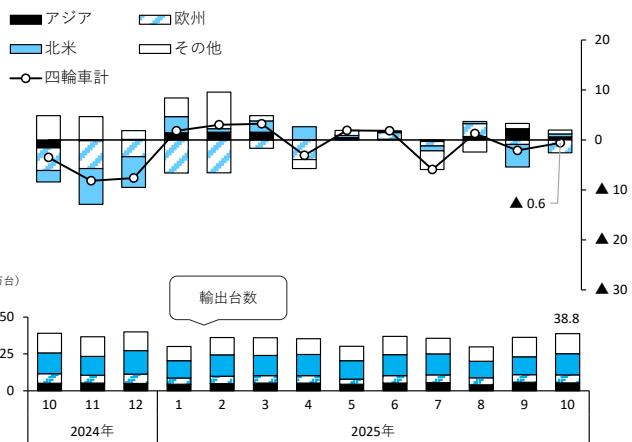
(出所) 日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会、日本自動車輸入組合

(注) 車種区分は、登録者は03年1月実績より、軽自動車は04年1月実績より、それぞれ従来のシャシーベースからナンバーベースへ変更された。

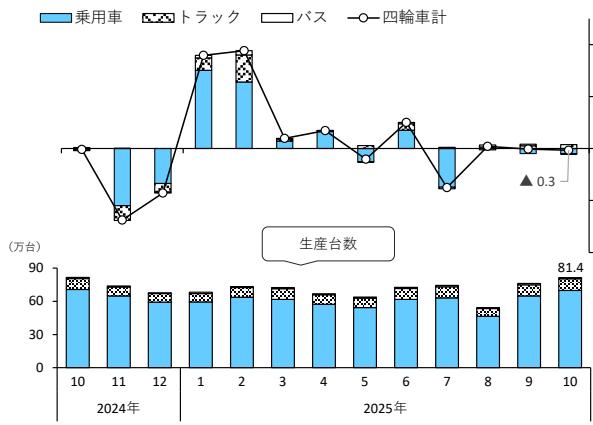
〔図11〕国産車販売台数、前年同月比寄与度(%)



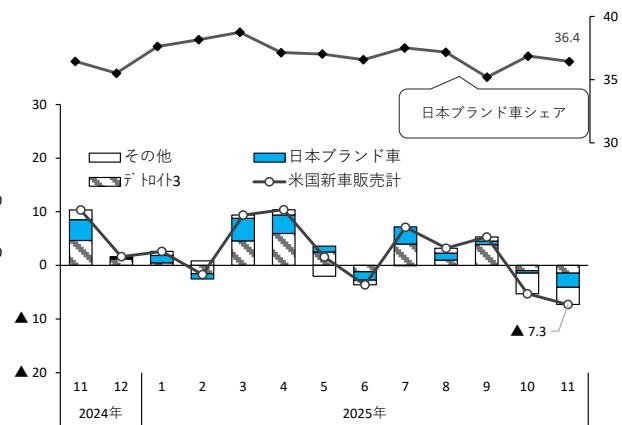
〔図12〕四輪車輸出台数、前年同月比寄与度(%)



〔図13〕四輪車生産台数、前年同月比寄与度(%)



〔図14〕米国新車販売台数、前年同月比寄与度(%)



〔表3〕四輪車仕向地別輸出・生産台数

(単位：千台、%)

	合計	輸出							生産			米国新車販売台数	
		アジア	中近東	欧州	(E U)	北米	(米国)	オセアニア	四輪車計	乗用車+トラック	乗用車	トラック	
2023年度	4,462	582	467	807	578	1,745	1,501	474	8,678	8,580	7,545	1,035	15,800
2024年度	4,244	599	555	615	422	1,621	1,384	468	8,468	8,359	7,315	1,043	16,145
2024年 7-9月	1,043	146	137	150	108	394	339	116	2,107	2,081	1,811	271	3,896
10-12月	1,156	156	158	179	118	428	373	136	2,234	2,206	1,949	257	4,225
2025年 1-3月	1,021	147	137	143	98	397	334	99	2,139	2,110	1,851	259	3,939
4-6月	1,025	151	125	134	85	412	348	104	2,033	2,003	1,734	270	4,204
7-9月	1,017	155	133	151	104	375	307	99	2,047	2,016	1,745	271	4,108
2025年 8月	298	41	36	47	32	112	91	29	543	535	464	71	1,471
9月	363	59	57	51	38	120	100	35	761	749	649	100	1,249
10月	388	55	50	54	39	143	118	46	814	803	699	104	1,277
2023年度	15.5	0.9	0.6	36.3	43.2	21.3	17.0	15.9	7.1	7.1	10.7	▲13.5	11.9
2024年度	▲4.9	2.8	18.9	▲23.9	▲27.0	▲7.1	▲7.8	▲1.4	▲2.4	▲2.6	▲3.0	0.8	2.2
2024年 7-9月	▲10.3	▲4.0	12.6	▲23.2	▲20.3	▲15.4	▲16.1	▲5.5	▲6.7	▲6.7	▲7.4	▲1.8	▲2.3
10-12月	▲6.5	▲3.9	29.3	▲23.5	▲29.8	▲13.1	▲12.5	9.4	▲7.6	▲7.7	▲6.9	▲12.9	7.7
2025年 1-3月	2.7	11.6	27.1	▲25.1	▲29.7	5.2	4.8	▲5.6	12.3	11.9	10.5	23.1	4.5
4-6月	0.1	1.1	1.8	▲6.2	▲12.3	2.9	2.8	▲11.2	2.2	2.1	1.7	5.2	2.9
7-9月	▲2.5	6.4	▲2.5	0.6	▲3.6	▲4.9	▲9.5	▲14.1	▲2.8	▲3.1	▲3.6	0.1	5.5
2025年 8月	1.3	5.3	▲9.8	19.0	12.9	1.1	▲4.9	▲15.4	0.4	0.0	0.4	▲2.0	3.4
9月	▲2.1	16.8	11.6	▲6.1	▲7.3	▲12.2	▲14.4	▲20.5	▲0.1	▲0.4	▲1.1	4.3	6.0
10月	▲0.6	4.6	▲8.1	▲15.6	▲7.7	1.6	▲1.8	2.3	▲0.3	▲0.3	▲1.2	6.1	▲4.7
4月からの累計	2,430	361	308	338	229	930	772	249	4,894	4,823	4,178	645	9,589
前年同期	2,457	348	314	356	249	936	797	277	4,913	4,848	4,223	625	9,321
増減量	▲27	13	▲6	▲18	▲19	▲5	▲25	▲28	▲18	▲25	▲45	20	268
前年同期比	▲1.1	3.9	▲1.8	▲5.0	▲7.7	▲0.6	▲3.2	▲10.2	▲0.4	▲0.5	▲1.1	3.2	2.9

(出所)日本自動車工業会、ウォード自動車情報社

(注)四輪車生産台数の累計値は年初から最新月までの合計である。

＜産業機械＞

○10月の受注は前年同月比0.5%増と6カ月連続の増加

- 民需(21.0%減・5カ月ぶり)が低下したものの、官公需(40.8%増・3カ月ぶり)、外需(17.0%増・4カ月連続)が増加した。外需では、産業機械(14.9%増・2カ月ぶり)、原動機(22.0%増・3カ月連続)、工作機械(24.1%増・8カ月連続)などが増加した。

○10月の生産用機械工業の生産は前年同月比6.8%減と2カ月ぶりの低下。また、汎用・業務用機械工業の生産は同2.1%増と2カ月連続の上昇。

- 生産用機械工業の生産を機種別にみると、農業用機械(23.4%増・5カ月連続)等が上昇したものの、建設・鉱山機械(3.3%減・2カ月ぶり)、化学機械(17.2%減・3カ月連続)、金属加工工作機械(5.3%減・3カ月連続)、半導体製造装置(17.8%減・2カ月ぶり)などが低下したことから、全体では前年同月比6.8%減と2カ月ぶりの低下となった。
- 汎用・業務用機械工業の生産を機種別にみると、ボイラ・原動機(0.7%減・2カ月ぶり)、冷凍機・温湿調整装置(3.4%減・3カ月連続)が減少したものの、運搬装置(0.2%増・2カ月ぶり)などが増加したことから、全体では前年同月比2.1%増と2カ月連続で上昇となった。

＜電気機械＞

○10月の生産は、前年同月比5.1%増と2カ月連続で増加

- 重電機は、前年同月比1.4%増と2カ月連続の上昇となった。品目別には、開閉制御装置(4.5%増・3カ月ぶり)が上昇したものの、回転電機(0.0%)横ばい、静止電機(4.1%減・2カ月ぶり)が低下した。
- 家庭用電気機器は、民生用電機(1.3%増・3カ月ぶり)が増加したものの、民生用電子(24.7%減・11カ月連続)が低下したことから、全体では前年同月比6.0%減と12カ月連続の低下となった。

＜造船＞11月の手持工事量は前月末比0.1%増の2,982万G/Tと5カ月ぶりの減少

- 10月の起工量は前年同月比29.3%増の101.2万G/Tと2カ月ぶりのとなった。
- 11月の輸出船契約量は前年同月比2.6倍の61.2万G/Tと2カ月ぶりに増加となった。
- 11月末の手持工事量は前月末比0.1%増の2,898万G/Tと5カ月ぶりの増加となった。

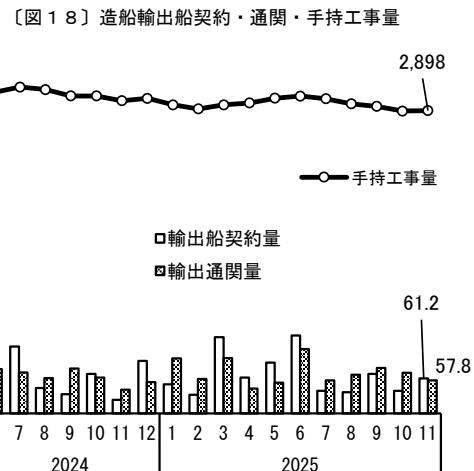
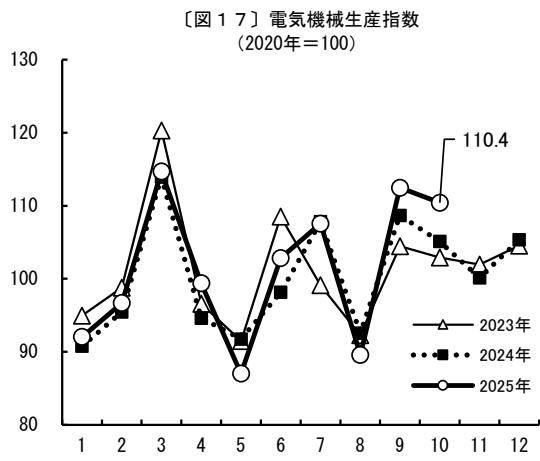
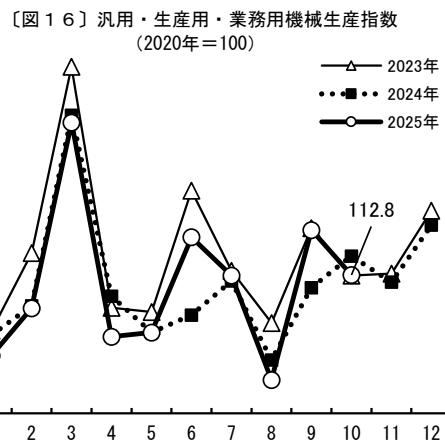
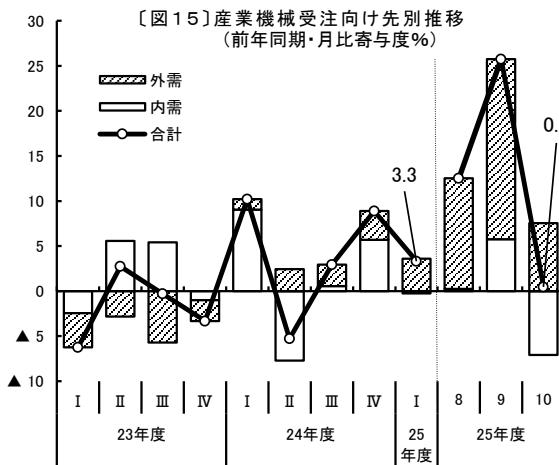
〔表4〕 産業機械活動水準

(単位:億円、IIP<20年=100>、%)

	合計	受注額			IIP					汎用・業務用			
		民需	官公需	外需	生産用機械工業	農業用機械	建設・鉱山機械	化学機械	金属加工工作機械	機械工業	ボイラ・原動機	運搬装置	冷凍機・温湿調整装置
2023年度	139,087	58,829	9,175	65,946	119.5	92.2	131.1	91.3	131.8	110.0	108.6	108.8	109.4
2024年度	144,684	59,504	10,389	69,180	118.5	67.4	105.9	98.1	115.9	103.3	90.1	90.8	111.8
2024年 7-9月	34,615	13,112	2,532	17,554	112.1	63.5	102.5	104.0	112.2	101.9	93.8	90.9	110.0
10-12月	34,768	14,467	1,684	17,116	124.2	60.0	103.5	104.6	121.2	107.7	95.6	92.4	115.3
2025年 1-3月	39,328	16,325	3,825	17,797	123.4	67.3	99.7	97.8	124.0	105.9	86.1	101.6	108.2
4-6月	37,169	15,342	2,348	18,008	114.4	76.7	103.4	104.1	106.5	101.9	83.2	84.8	113.8
7-9月	40,899	15,982	2,160	21,234	114.3	73.7	103.7	91.2	113.8	104.4	89.8	86.8	110.6
2025年 8月	11,381	4,179	528	6,238	100.8	60.4	85.3	91.6	104.9	89.9	70.1	77.3	93.6
9月	17,250	6,549	732	9,441	126.3	76.7	110.8	86.1	118.7	113.8	111.8	110.1	114.0
10月	11,703	4,347	749	6,064	115.9	75.0	112.6	92.2	113.1	109.4	89.0	86.3	117.8
2023年度	▲1.8	3.1	9.5	▲7.2	▲9.9	▲15.0	3.5	▲11.6	▲7.7	▲3.9	▲9.4	6.9	▲2.2
2024年度	4.0	1.1	13.2	4.9	▲0.8	▲26.9	▲19.3	7.4	▲12.0	▲6.1	▲17.1	▲16.6	2.2
2024年 7-9月	▲5.3	▲18.3	▲0.9	5.3	▲4.0	▲33.8	▲22.7	23.1	▲17.7	▲6.5	▲14.5	▲7.4	4.1
10-12月	2.9	1.8	▲10.1	5.0	5.6	▲25.7	▲23.5	8.9	▲9.2	▲6.3	▲23.3	▲21.7	▲0.7
2025年 1-3月	8.9	5.6	37.8	7.0	▲1.0	▲23.7	▲19.3	▲0.2	4.1	▲1.9	▲16.7	▲18.5	0.2
4-6月	3.3	▲1.7	0.0	7.7	0.0	▲2.6	▲12.2	21.1	0.2	4.3	▲2.0	8.4	0.1
7-9月	18.2	21.9	▲14.7	21.0	1.9	16.1	1.2	▲12.3	1.4	2.5	▲4.3	▲4.5	0.6
2025年 8月	12.5	3.3	▲17.3	24.8	▲5.5	12.9	▲2.6	▲9.8	▲0.1	▲0.7	▲17.5	1.7	▲3.3
9月	25.8	30.3	▲51.3	40.9	12.2	21.9	7.2	▲27.2	▲2.0	4.7	13.3	▲0.5	▲3.8
10月	0.5	▲21.0	40.8	17.0	▲6.8	23.4	▲3.3	▲17.2	▲5.3	2.1	▲0.7	0.2	▲3.4
4月からの累計	89,771	35,670	5,256	45,306	114.6	75.2	104.8	96.9	110.6	104.0	86.8	85.9	113.0
前年同期	82,236	34,218	5,411	39,452	114.8	69.6	111.1	97.3	110.7	100.8	89.4	84.8	113.3
増減量	7,535	1,453	▲154	5,854	-	-	-	-	-	-	-	-	-
前年同期比	9.2	4.2	▲2.9	14.8	▲0.2	8.0	▲5.6	▲0.5	▲0.1	3.2	▲2.8	1.3	▲0.3

(出所) 経済産業省、内閣府

(注) 受注額は内閣府「機械受注実績」の原動機+産業機械+工作機械。



〔表5〕電気機械、造船活動水準

(単位:IIP<20年=100>・%、千G/T、%)

	電気機械	I I P					造船					
		重電機	家庭用 電気機器	民生用電機	民生用電子	通信機械	電子 部 品	起工量	竣工量	輸出船 契約量	輸出通關 実績	手持ち 工事量
2023年度	100.2	101.8	94.5	91.1	106.4	73.9	80.1	8,544	9,533	11,699	8,877	27,629
2024年度	100.6	96.1	93.5	91.6	100.2	60.6	79.0	9,222	8,893	10,708	8,212	29,383
2024年 7-9月	103.0	93.3	90.9	86.6	105.9	63.7	84.5	2,276	2,176	1,949	2,114	30,000
10-12月	103.5	98.0	94.2	88.7	113.2	59.2	80.8	2,067	1,685	1,837	1,585	29,841
2025年 1-3月	101.2	104.3	86.4	88.2	80.3	75.6	73.9	2,453	2,858	2,156	2,525	29,383
4-6月	96.4	90.6	98.1	103.5	79.0	45.8	78.1	2,282	2,170	2,867	2,095	29,993
7-9月	103.1	92.7	83.2	85.2	76.0	57.8	87.8	2,079	2,445	1,454	2,044	29,272
2025年 9月	112.4	107.2	78.9	78.6	79.9	65.4	90.8	435	825	687	791	29,272
10月	110.4	97.6	92.7	92.4	93.8	62.1	83.8	1,012	956	393	708	28,953
11月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	612	578	28,982
2023年度	▲3.4	▲5.4	▲3.8	▲8.4	13.1	▲15.4	1.0	▲2.7	4.8	▲12.2	5.9	11.8
2024年度	0.4	▲5.7	▲1.0	0.6	▲5.9	▲18.0	▲1.3	7.9	▲6.7	▲8.5	▲7.5	6.3
2024年 7-9月	4.4	▲6.8	9.5	13.6	▲0.8	▲3.6	▲1.8	4.8	▲4.5	▲3.4	▲1.2	▲0.8
10-12月	0.4	▲5.9	1.3	1.1	1.8	▲13.2	▲3.9	▲14.9	▲37.1	▲59.6	▲36.3	▲0.5
2025年 1-3月	1.1	1.0	▲4.7	1.0	▲21.8	▲18.5	▲0.9	27.1	9.3	▲17.3	11.5	▲1.5
4-6月	1.7	2.2	▲4.5	0.5	▲22.1	4.0	1.4	▲5.9	▲0.2	▲39.8	5.4	2.1
7-9月	0.2	▲0.6	▲8.5	▲1.5	▲28.2	▲9.2	3.9	▲8.6	12.3	▲25.4	▲3.3	▲2.4
2025年 9月	3.5	1.6	▲9.6	▲1.4	▲29.7	5.6	4.0	▲55.6	4.9	103.5	1.2	▲0.6
10月	5.1	1.4	▲6.0	1.3	▲24.7	10.3	1.8	29.3	37.6	▲42.9	13.5	▲1.1
11月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	159.2	39.7	0.1
4月からの累計	101.3	92.5	90.9	94.1	79.8	53.3	83.1	5,374	5,570	5,326	5,426	-
前年同期	99.8	91.7	97.0	94.3	106.6	54.2	81.0	5,485	5,045	7,638	5,140	-
増減量	-	-	-	-	-	-	-	▲111	526	▲2,313	286	-
前年同期比	1.5	0.9	▲6.3	▲0.2	▲25.1	▲1.7	2.6	▲2.0	10.4	▲30.3	5.6	-

(出所) 経済産業省、国土交通省、日本船舶輸出組合

(注) 1. 電気機械工業IIPは、電子部品・デバイス工業+電気・情報通信機械工業を加重平均したもの。

2. 民生用電機IIPは、家用機器+空調・住宅関連機器を加重平均したもの。

3. 造船起工量、竣工量は速報で主要工場ベース。

4. 手持ち工事量は前月(期)末比増減率。

3. 鋼材受注

—10月の普通鋼鋼材受注(内需計)は、前年同月比2.5%増の289万トンと
2カ月連続で増加—

○10月の普通鋼鋼材受注(内需計)は、前年同月比2.5%増の289万トンと2カ月連続で増加

- 建設用(3.6%増)は、土木(1.4%減・15カ月連続)が減少したものの、建築(6.3%増・2カ月連続)、その他建設(1.0%増・2カ月連続)が増加したことから、全体では2カ月連続の増加となった。

※その他建設用：建築金物、建築用付属資材(配管・配線用、サッシ、シャッター等)、仮設材(足場鋼管、メタルフォーム等)など。

- 製造業用(5.1%増)は、造船(1.0%増・3カ月連続)、自動車(4.4%増・3カ月連続)、産機(6.8%増・2カ月連続)、電機(13.0%増・3カ月連続)など全主要分野で増加し、全体では3カ月連続の増加となった。
- 建設向けのウェイトが高い販売業者向け(1.7%減)は3カ月ぶりの減少となった。
- 内需全体(2.5%増)では2カ月連続の増加となった。
- 輸出向け(7.8%減)は2カ月ぶりの減少となった。

○10月の特殊鋼鋼材受注(内需計)は、前年同月比1.4%減の84.0万トンと3カ月ぶりの減少

- 製造業用(1.9%減)は、産機(1.9%増・2カ月連続)、自動車(0.5%増・5カ月連続)が増加したものの、次工程(6.7%減・3カ月ぶり)が減少したことから、全体では5カ月ぶりの減少となった。
- 内需全体(1.4%減)は3カ月ぶりの減少となった。
- 輸出向け(11.0%減)は2カ月連続の減少となった。

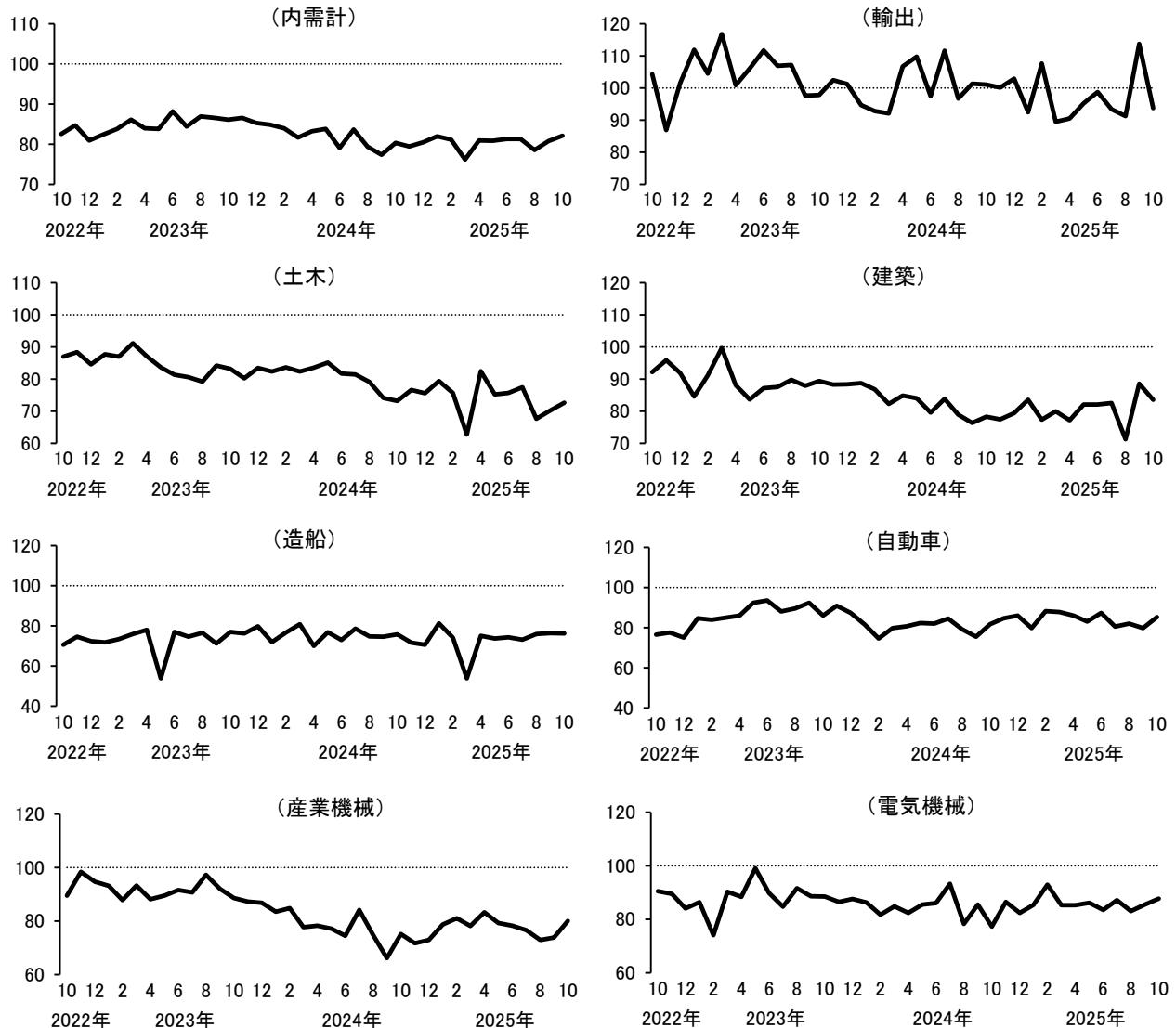
〔表6〕鋼材受注総括表

(単位：千トン、%)

	普通			製造業計	鋼材				販売業者	内需計	輸出
	建設計	土木	建築		造船	自動車	産機	電機			
2023年度	8,757	1,764	5,164	1,829	14,946	2,888	7,234	1,242	1,313	11,246	34,949
2024年度	8,176	1,648	4,747	1,781	14,296	2,816	6,885	1,072	1,269	10,567	33,039
2024年 7- 9月	1,996	413	1,149	435	3,603	726	1,743	258	314	2,492	8,091
10-12月	2,034	401	1,186	447	3,655	722	1,762	268	312	2,710	8,399
2025年 1- 3月	2,017	384	1,184	450	3,578	666	1,780	270	329	2,611	8,205
4- 6月	2,044	421	1,189	434	3,573	713	1,684	290	315	2,628	8,245
7- 9月	1,977	379	1,168	431	3,598	715	1,766	256	313	2,511	8,087
2025年 8月	568	108	330	130	1,223	237	623	83	101	765	2,556
9月	707	128	429	149	1,196	226	595	87	105	857	2,760
10月	721	139	432	150	1,261	242	608	105	104	911	2,892
2023年度	▲7.5	▲6.5	▲8.8	▲4.4	1.4	1.9	6.6	▲10.6	▲1.9	1.3	▲1.0
2024年度	▲6.6	▲6.6	▲8.1	▲2.6	▲4.3	▲2.5	▲4.8	▲13.7	▲3.3	▲6.0	▲5.5
2024年 7- 9月	▲7.0	▲4.5	▲9.8	▲1.5	▲7.8	2.2	▲11.8	▲19.8	▲2.8	▲5.8	▲7.0
10-12月	▲9.8	▲9.2	▲11.7	▲5.1	▲5.1	▲6.4	▲4.7	▲16.3	▲6.3	▲7.1	▲6.9
2025年 1- 3月	▲6.6	▲12.5	▲6.3	▲1.7	0.8	▲9.5	7.9	▲3.4	4.5	▲9.0	▲4.4
4- 6月	▲4.0	▲6.6	▲3.2	▲3.5	3.2	1.5	5.2	4.9	0.5	▲4.6	▲1.2
7- 9月	▲0.9	▲8.2	1.7	▲0.9	▲0.1	▲1.5	1.4	▲0.6	▲0.4	0.8	▲0.0
2025年 8月	▲10.0	▲14.8	▲9.7	▲6.5	2.2	1.9	3.4	▲1.9	5.8	0.5	▲1.3
9月	8.6	▲6.1	16.1	3.1	2.6	1.4	5.3	11.2	0.5	2.8	4.1
10月	3.6	▲1.4	6.3	1.0	5.1	1.0	4.4	6.8	13.0	▲1.7	2.5
4月からの累計	4,743	939	2,789	1,014	8,432	1,670	4,058	652	733	6,050	19,224
前年同期	4,821	1,004	2,784	1,033	8,264	1,668	3,926	633	720	6,172	19,257
増減量	▲78	▲65	6	▲19	168	2	133	19	12	▲122	▲32
前年同期比	▲1.6	▲6.5	0.2	▲1.8	2.0	0.1	3.4	3.0	1.7	▲2.0	▲0.2

(出所) 日本鉄鋼連盟

〔図19〕 普通鋼鋼材受注推移（季節調整済指数、2019年=100）

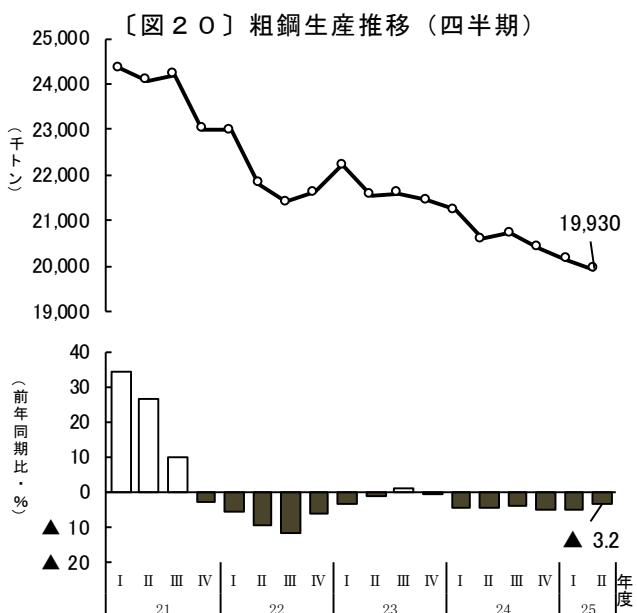


〔表6〕 鋼材受注総括表（続）

製造業計	特 殊 鋼				鋼 材			鋼材合計
	産 機		自動車	次工程	販売業者	内需計	輸出	
	内需計	輸出計						
2023年度	9,163		1,245	4,274	3,234	795	10,247	3,997
2024年度	8,772		1,201	3,997	3,120	810	9,873	3,829
2024年 7-9月	2,206		313	1,000	778	203	2,484	966
10-12月	2,271		294	1,050	812	205	2,549	975
2025年 1-3月	2,115		292	963	748	191	2,375	923
4-6月	2,212		322	1,002	778	199	2,481	956
7-9月	2,247		305	1,046	789	195	2,513	946
2025年 8月		727	90	345	255	65	812	301
9月		755	107	350	265	63	840	301
10月		744	106	342	259	69	840	299
2023年度		2.0	▲13.2	11.9	▲1.1	▲11.3	0.7	▲8.1
2024年度		▲4.3	▲3.5	▲6.5	▲3.5	1.9	▲3.7	▲4.2
2024年 7-9月		▲8.1	▲2.0	▲13.3	▲5.9	10.1	▲6.5	▲8.8
10-12月		▲2.7	▲2.7	▲5.7	▲0.9	3.9	▲2.3	▲1.2
2025年 1-3月		▲1.6	▲0.6	▲1.7	▲3.0	▲8.0	▲2.3	▲2.6
4-6月		1.4	6.5	1.8	▲0.5	▲5.4	0.7	▲1.0
7-9月		1.9	▲2.6	4.6	1.5	▲4.2	1.2	▲2.2
2025年 8月		2.7	▲11.0	6.3	4.2	5.0	2.2	3.2
9月		2.6	1.4	5.1	2.5	▲7.0	2.0	▲10.7
10月		▲1.9	1.9	0.5	▲6.7	▲0.7	▲1.4	▲11.0
4月からの累計	5,203		733	2,389	1,827	462	5,834	2,200
前年同期	5,145		719	2,324	1,838	483	5,800	2,268
増減量	58		13	65	▲11	▲21	35	▲68
前年同期比	1.1		1.9	2.8	▲0.6	▲4.2	0.6	▲3.0
							2	▲1,001
							0.0	▲6.4

○粗鋼生産・普通鋼鋼材生産・普通鋼鋼材出荷・在庫動向

- 11月の粗鋼生産(速報)は前年同月比1.6%減の677万トンと8カ月連続の減少となった。
- 11月の普通鋼鋼材生産(速報)は、前年同月比0.6%減の456万トンと2カ月ぶりの減少となった。
- 10月の普通鋼鋼材国内向け出荷は、前年同月比5.1%減の298万トンと3カ月ぶりの減少となった。輸出向け出荷は同0.7%減の168万トンと2カ月連続の減少となった。
- 10月末の普通鋼鋼材国内向け在庫は、前月末比0.5万トン減の506万トンとなった。なお、在庫率は前月末比1.3ポイント低下の169.4%となった。



(万トン)	粗鋼		
	需要量見通し	生産計画	実績
2025年4月～6月	2,020	2,033	2,015
2025年7月～9月	2,011	2,062	1,993
2025年10月～12月	2,023	2,083	

〔表7〕鉄鋼需給総括表

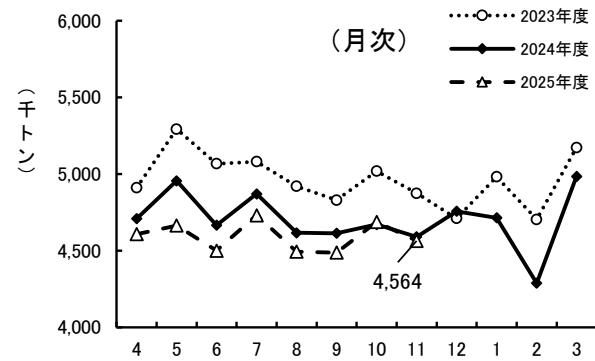
(単位:千トン、%)

	粗鋼生産		鋼材生産		普通鋼鋼材出荷			普通鋼鋼材在庫			
	合計	転炉鋼	電炉鋼	普通鋼	特殊鋼	計	国内	輸出	計	国内	在庫率
2023年度	86,828	63,849	22,979	59,566	15,084	59,423	36,713	22,710	6,544	5,455	170.0
2024年度	82,954	61,368	21,586	56,441	14,348	56,854	34,921	21,932	6,131	4,981	162.4
2024年 7- 9月	20,591	15,326	5,265	14,102	3,651	14,176	8,387	5,788	6,449	5,323	190.4
10-12月	20,720	15,410	5,310	14,020	3,601	14,423	8,851	5,573	6,046	4,979	168.8
2025年 1- 3月	20,396	15,105	5,291	13,988	3,553	13,902	8,654	5,248	6,131	4,981	172.7
4- 6月	20,148	14,726	5,422	13,773	3,529	13,644	8,555	5,089	6,261	5,123	179.6
7- 9月	19,930	15,048	4,881	13,713	3,695	13,745	8,415	5,330	6,229	5,050	180.0
2025年 9月	6,377	4,735	1,641	4,488	1,282	4,616	2,958	1,658	6,229	5,050	170.7
10月	6,854	5,062	1,792	4,687	1,163	4,653	2,978	1,675	6,263	5,045	169.4
P 11月	6,774	4,973	1,801	4,564	-	-	-	-	-	-	-
2023年度	▲1.2	▲0.7	▲2.3	▲0.1	▲1.6	▲1.1	▲3.5	3.2	143	68	-
2024年度	▲4.5	▲3.9	▲6.1	▲5.2	▲4.9	▲4.3	▲4.9	▲3.4	▲413	▲475	-
2024年 7- 9月	▲4.5	▲5.8	▲0.6	▲4.9	▲5.9	▲5.9	▲8.2	▲2.2	▲74	15	-
10-12月	▲4.1	▲1.8	▲10.2	▲4.0	▲5.6	▲1.7	▲5.2	4.4	▲403	▲345	-
2025年 1- 3月	▲4.9	▲3.8	▲8.1	▲5.9	▲4.1	▲3.4	▲3.3	▲3.6	86	2	-
4- 6月	▲5.2	▲5.2	▲5.2	▲3.9	▲0.4	▲4.9	▲5.2	▲4.4	130	142	-
7- 9月	▲3.2	▲1.8	▲7.3	▲2.8	1.2	▲3.0	0.3	▲7.9	▲32	▲73	-
2025年 9月	▲3.7	▲1.2	▲10.3	▲2.7	1.2	▲5.1	1.7	▲15.3	▲128	▲84	-
10月	▲1.0	▲0.8	▲1.7	0.3	▲3.4	▲3.6	▲5.1	▲0.7	34	▲5	-
11月	▲1.6	▲2.3	0.2	▲0.6	-	-	-	-	-	-	-
4月からの累計	53,706	39,809	13,897	36,738	8,387	32,042	19,949	12,094	-	-	-
前年同期	55,650	41,044	14,606	37,696	8,398	33,355	20,556	12,799	-	-	-
増減量	▲1,944	▲1,235	▲709	▲957	▲11	▲1,313	▲608	▲706	-	-	-
前年同期比	▲3.5	▲3.0	▲4.9	▲2.5	▲0.1	▲3.9	▲3.0	▲5.5	-	-	-

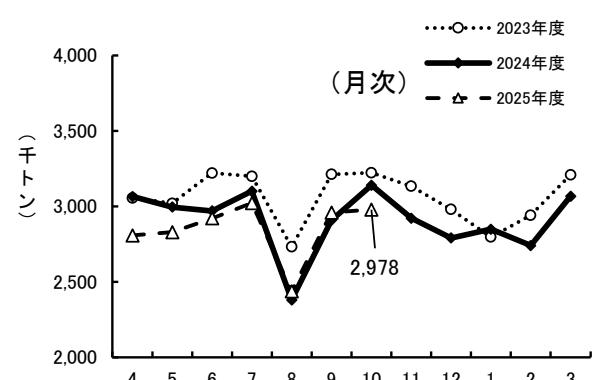
(出所) 経済産業省、日本鉄鋼連盟 (注) 在庫は前月(期)末比増減量

〔図22〕普通鋼鋼材需給

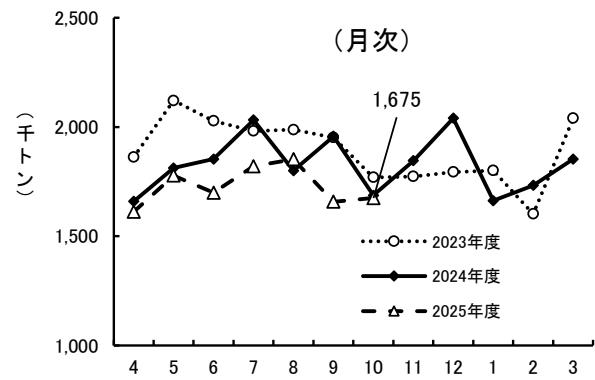
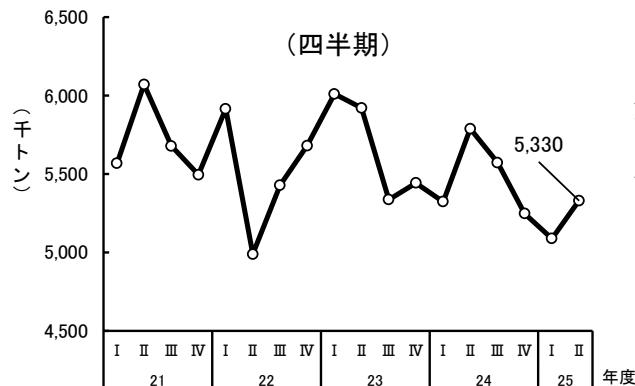
生産



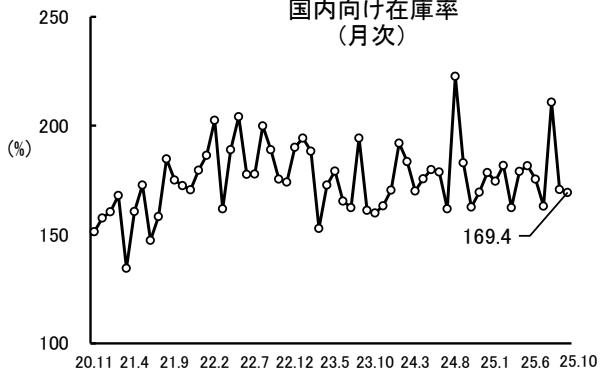
国内向け出荷



輸出向け出荷



国内向け在庫



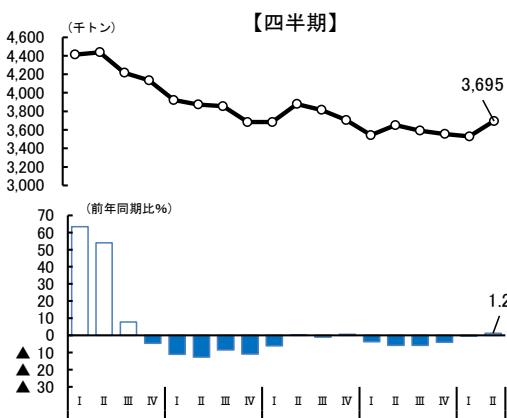
特殊鋼鋼材需給

—9月の特殊鋼鋼材生産は前年同月比1.2%増の128万トンと3カ月連続の増加—

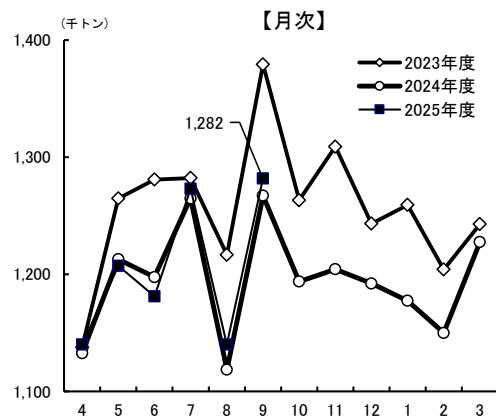
○生産、出荷、在庫動向

- 9月の特殊鋼鋼材生産は、前年同月比1.2%増の128万トンと3カ月連続の増加となった。
- 鋼種別には、機械構造用炭素鋼(同5.4%減)、構造用合金鋼(同6.2%減)が減少したものの、工具鋼(同2.3%増)、ばね鋼(同1.1%増)、ステンレス鋼(同4.0%増)、高抗張力鋼(同11.9%増)が増加した。
- 9月の特殊鋼鋼材出荷は、輸出向け(同3.6%増、37.4万トン・2カ月連続)が増加したものの、国内向け(同2.3%減、89万トン・2カ月ぶり)が減少し、合計(同0.6%減、126万トン)では2カ月ぶりの減少となった。
- 9月末の特殊鋼鋼材在庫は、前月末比2.5万トン減の160万トンとなった。なお、在庫率は21.3ポイント低下し126.2%となった。

〔図23〕特殊鋼鋼材生産推移



〔図24〕特殊鋼鋼材生産推移



〔表8〕特殊鋼鋼材需給表

(単位:千トン, %)

	生産	計	出荷		在庫		鋼種別生産					
			国内	輸出	在庫率	工具鋼	S C	A L	ばね鋼	ステンレス	高抗張力鋼	
2023年度	15,084	14,684	10,606	4,078	1,732	135.4	166	3,894	3,176	304	1,823	4,187
2024年度	14,348	14,010	10,173	3,837	1,636	137.2	195	3,602	3,015	284	1,855	3,915
2024年 7-9月	3,651	3,531	2,518	1,013	1,739	147.8	47	925	773	73	467	984
10-12月	3,601	3,603	2,636	967	1,647	137.1	46	907	750	73	467	981
2025年 1-3月	3,553	3,435	2,511	924	1,636	142.9	49	880	758	66	458	977
4-6月	3,529	3,474	2,551	923	1,586	137.0	41	873	777	76	460	919
7-9月	3,695	3,544	2,528	1,016	1,595	135.0	50	912	751	66	488	1,039
2025年 7月	1,273	1,182	885	297	1,611	136.3	17	316	275	25	157	348
8月	1,140	1,098	753	345	1,620	147.5	14	285	218	16	165	319
9月	1,282	1,264	890	374	1,595	126.2	19	311	258	25	166	372
2023年度	▲1.6	▲3.8	▲2.6	▲6.9	5	-	6.7	▲2.2	▲1.7	▲2.6	▲10.7	5.8
2024年度	▲4.9	▲4.6	▲4.1	▲5.9	▲96	-	17.7	▲7.5	▲5.1	▲6.4	1.7	▲6.5
2024年 7-9月	▲5.9	▲5.5	▲6.6	▲2.6	16	-	62.5	▲6.9	▲6.1	▲3.2	0.5	▲10.4
10-12月	▲5.6	▲4.6	▲3.4	▲7.5	▲92	-	▲15.8	▲11.3	▲6.6	▲8.0	3.7	▲4.8
2025年 1-3月	▲4.1	▲4.1	▲1.6	▲10.2	▲11	-	2.0	▲5.8	2.9	▲8.0	2.4	▲9.9
4-6月	▲0.4	0.9	1.7	▲1.1	▲50	-	▲23.6	▲1.9	5.9	6.5	▲0.6	▲5.5
7-9月	1.2	0.4	0.4	0.3	9	-	5.7	▲1.4	▲2.9	▲10.5	4.5	5.6
2025年 7月	0.6	▲6.7	▲2.8	▲16.6	25	-	3.3	0.8	3.8	3.2	2.6	▲2.8
8月	1.9	10.6	8.0	16.8	9	-	13.9	0.8	▲6.6	▲35.5	6.8	8.7
9月	1.2	▲0.6	▲2.3	3.6	▲25	-	2.3	▲5.4	▲6.2	1.1	4.0	11.9
4月からの累計	7,224	7,018	5,079	1,939	-	-	91	1,785	1,527	142	948	1,958
前年同期	7,194	6,973	5,027	1,946	-	-	101	1,815	1,507	145	930	1,957
増減量	30	46	53	▲7	-	-	▲10	▲30	21	▲3	18	1
前年同期比	0.4	0.7	1.1	▲0.4	-	-	▲9.8	▲1.6	1.4	▲2.1	1.9	0.1

(出所) 経済産業省、日本鉄鋼連盟

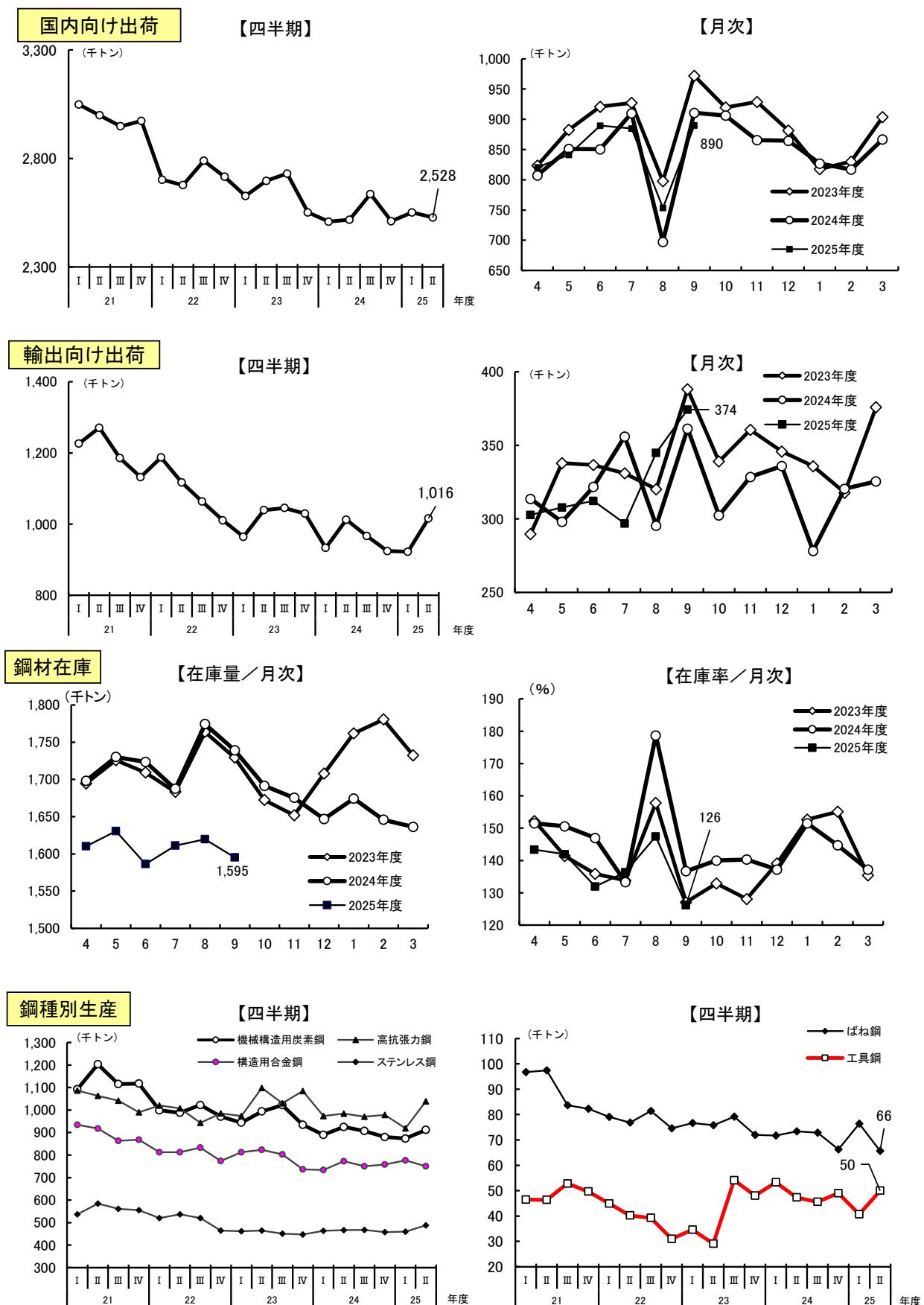
(注) 1. 在庫は前月(期)末比増減。

2. 生産は最終鋼材生産、出荷・メーカー在庫は外販用鋼材販売在庫調査、在庫はメーカー及び市中 在庫合計。

3. S Cは機械構造用炭素鋼、A Lは構造用合金鋼。

4. 生産については、2020年1月より、経済産業省の特殊鋼生産統計(最終鋼材)において鋼管が対象外とされたため、本表では業界自主統計より特殊鋼鋼管生産を加算して最終鋼材生産を算出している。

〔図25〕特殊鋼鋼材需給



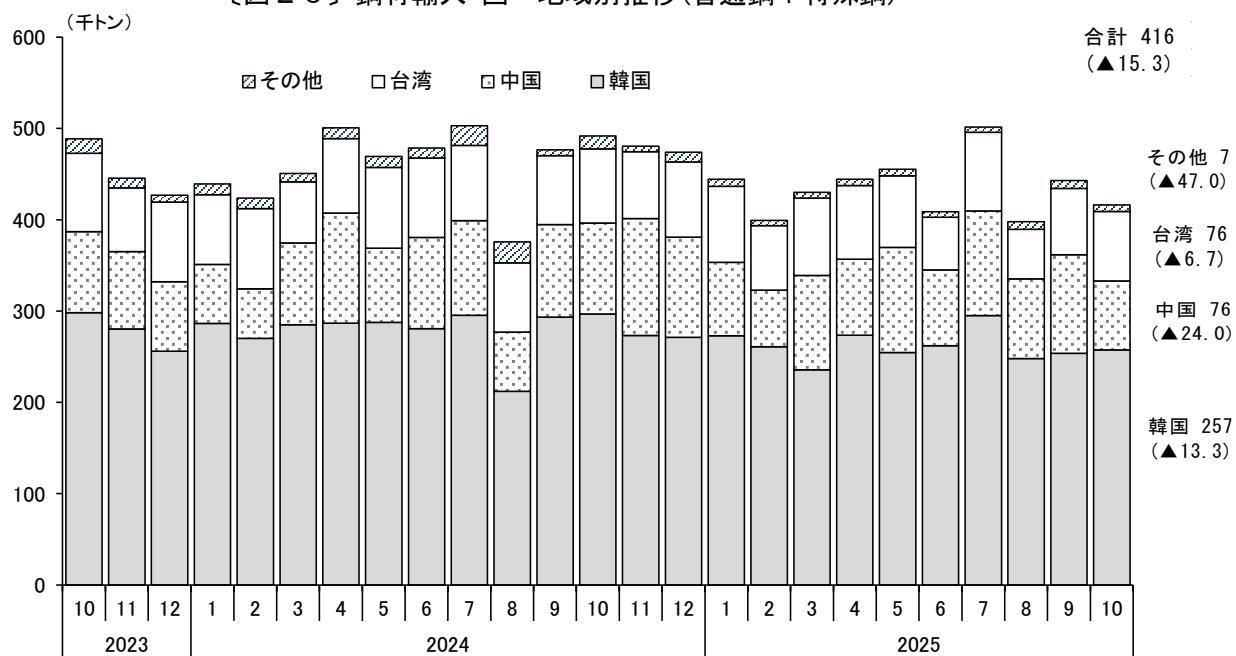
5. 鋼材輸入、鋼材流通

—10月の鋼材輸入は、前年同月比15.3%減の42万トンと2カ月連続の減少—

○ 10月の鋼材輸入の動向

- 10月の鋼材輸入(普通鋼+特殊鋼)は、前年同月比15.3%減の42万トンと2カ月連続の減少となった。
- 国別では、韓国(13.3%減・2カ月連続)、中国(24.0%減・4カ月ぶり)、台湾(6.7%減・3カ月連続)などがともに減少した。

〔図26〕鋼材輸入 国・地域別推移(普通鋼+特殊鋼)



(注) 棒グラフ上の数値は、普通鋼と特殊鋼の輸入量計。()は前年同月比。

〔表9〕普通鋼鋼材輸入

(単位:千トン、%)

	鋼材輸入 合計 (普通鋼+特殊鋼)	合計	普通鋼鋼材輸入						国別			
			線材	厚中板	熱延薄板類	冷延薄板類	亜鉛 めっき鋼板	その他	韓国	台湾	中国	その他
2023年度	5,230	4,770	248	435	1,459	917	1,240	472	3,016	863	786	105
2024年度	5,524	5,002	241	511	1,519	908	1,274	549	3,046	888	973	95
2024年 7-9月	1,355	1,232	67	124	368	222	324	128	748	217	226	41
10-12月	1,446	1,304	59	150	378	233	329	155	782	218	286	18
2025年 1-3月	1,274	1,148	43	105	368	193	303	136	719	217	203	10
4-6月	1,309	1,180	53	136	349	204	296	142	737	200	232	11
7-9月	1,342	1,213	51	133	335	223	317	153	746	194	262	10
2025年 8月	398	359	16	36	106	58	94	49	234	50	72	3
9月	443	394	14	42	98	76	113	51	235	66	89	4
10月	416	373	6	34	107	69	98	60	237	70	62	4
2023年度	9.0	10.6	▲18.3	11.9	4.4	12.7	25.1	12.3	12.9	3.3	13.5	▲7.1
2024年度	5.6	4.9	▲2.9	17.6	4.2	▲1.0	2.7	16.3	1.0	2.9	23.8	▲9.4
2024年 7-9月	3.4	3.5	▲9.9	17.6	2.3	0.2	5.6	4.0	0.8	6.6	4.5	48.6
10-12月	6.3	4.1	1.4	41.0	▲1.5	▲0.8	▲5.9	29.3	▲0.4	▲3.9	33.4	▲30.3
2025年 1-3月	▲3.0	▲4.0	▲22.1	▲8.6	3.4	▲20.9	▲3.0	19.6	▲8.3	1.2	16.7	▲61.2
4-6月	▲9.7	▲10.4	▲26.1	2.8	▲13.7	▲21.3	▲6.9	8.3	▲7.6	▲15.5	▲9.8	▲57.2
7-9月	▲0.9	▲1.6	▲22.9	7.6	▲8.9	0.4	▲2.4	20.0	▲0.2	▲10.5	15.9	▲75.2
2025年 8月	5.9	6.9	▲24.4	▲2.3	17.2	▲8.8	6.9	36.7	18.9	▲27.7	42.1	▲83.3
9月	▲7.0	▲9.2	▲28.9	1.9	▲28.1	▲7.2	1.2	18.8	▲14.3	▲6.9	4.2	22.9
10月	▲15.3	▲16.0	▲62.1	▲49.6	▲16.6	▲8.0	▲7.7	14.6	▲14.6	▲4.9	▲24.8	▲63.0
4月からの累計	3,067	2,765	111	303	792	496	710	354	1,720	464	556	25
前年同期	3,296	2,993	155	322	901	556	748	310	1,823	527	566	78
増減量	▲228	▲228	▲44	▲20	▲109	▲60	▲38	44	▲103	▲63	▲10	▲52
前年同期比	▲6.9	▲7.6	▲28.5	▲6.2	▲12.1	▲10.9	▲5.1	14.2	▲5.6	▲11.9	▲1.7	▲67.4

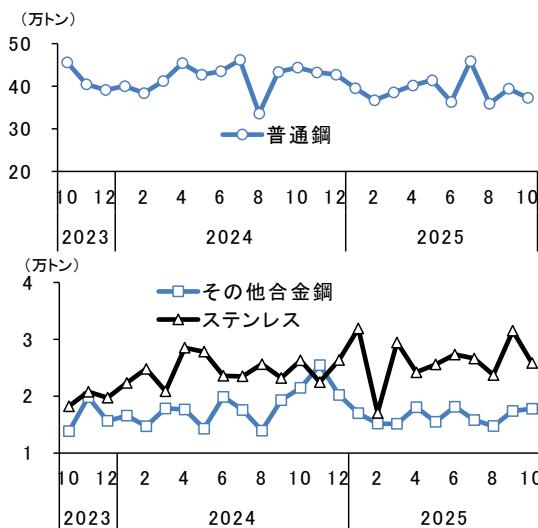
(出所) 財務省貿易統計

- ・ 鋼種別では、普通鋼(16.0%減)が2ヵ月連続の減少、特殊鋼(8.7%減)が2ヵ月ぶりの減少となつた。
- ・ 普通鋼は、線材(62.1%減)、厚中板(49.6%減)、熱延薄板類(16.6%減)、冷延薄板類(8.0%減)、亜鉛めっき鋼板(7.7%減)が減少した。
- ・ 特殊鋼は、ステンレス鋼(1.8%減)、その他合金鋼(17.1%減)がともに減少した。

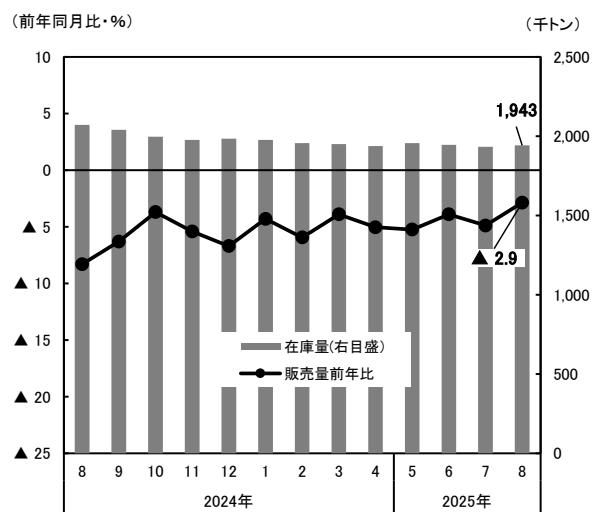
○8月の鋼材流通の動向

- ・ 市中販売は、前年同月比2.9%減の182万トンと、13ヵ月連続の減少となつた。
- ・ 市中在庫(自社所有分)は、前月末比で1.0万トン増加の194万トンと3ヵ月ぶりの増加となつた。

[図27] 鋼材輸入鋼種別推移



[図28] 市中鋼材数量調査の推移



[表10] 特殊鋼鋼材輸入

	合計	特殊鋼鋼材輸入								
		ステンレス	その他合金鋼	線材			鋼板			その他
				韓国	台湾	中国	その他	その他	その他	
2023年度	459	254	205	55	13	137	224	66	136	34
2024年度	523	306	217	63	23	132	222	79	182	41
2024年 7-9月	123	72	51	14	6	31	53	17	43	10
10-12月	142	75	67	19	8	40	60	19	51	12
2025年 1-3月	126	78	47	16	4	28	51	22	42	10
4-6月	129	77	52	13	2	36	53	17	49	9
7-9月	130	82	48	13	4	31	51	19	48	13
2025年 8月	38	24	15	3	1	11	14	4	15	5
9月	49	31	17	6	2	9	19	7	19	4
10月	44	26	18	5	1	12	20	6	14	4
2023年度	▲4.9	▲8.7	0.4	▲3.8	▲22.1	5.2	22.7	▲12.3	▲24.0	▲27.1
2024年度	13.8	20.2	5.9	14.8	72.8	▲4.0	▲0.8	19.3	33.3	21.1
2024年 7-9月	1.8	8.2	▲6.1	▲9.8	14.5	▲7.5	▲17.2	2.3	37.9	10.4
10-12月	31.7	27.9	36.1	62.4	199.2	14.8	19.9	20.5	46.2	67.1
2025年 1-3月	7.3	15.3	▲3.7	41.8	102.7	▲23.3	▲11.9	28.6	24.0	29.2
4-6月	▲2.3	▲3.5	▲0.3	▲1.4	▲54.9	8.7	▲7.7	▲17.3	10.0	6.7
7-9月	5.4	13.2	▲5.7	▲9.1	▲35.3	1.4	▲4.2	11.9	9.5	28.2
2025年 8月	▲2.8	▲7.4	5.8	▲19.6	▲33.4	19.7	▲8.9	▲37.8	8.2	49.3
9月	15.0	35.7	▲9.8	33.9	▲41.2	▲19.0	▲1.4	44.7	18.9	54.6
10月	▲8.7	▲1.8	▲17.1	17.0	19.0	▲27.4	6.9	▲23.2	▲20.4	▲0.6
4月からの累計	302	185	117	31	7	79	125	42	111	25
前年同期	303	178	124	32	12	80	130	45	106	22
増減量	▲*	6	▲7	▲1	▲5	▲1	▲5	▲4	5	3
前年同期比	▲0.2	3.5	▲5.4	▲2.6	▲39.0	▲1.5	▲4.2	▲7.7	4.9	15.2

(出所) 財務省貿易統計

[表11] 鋼材流通動向

市中鋼材数量調査	
販売量	在庫量
25,356	2,075
24,339	1,950
6,040	2,041
6,133	1,985
5,915	1,950
5,956	1,946
5,873	1,951
1,818	1,943
-	-
▲1.2	▲43
▲4.0	▲125
▲4.7	▲81
▲5.3	▲56
▲4.7	▲35
▲4.7	▲4
▲2.9	10
9,822	-
10,276	-
▲454	-
▲4.4	-

(出所) 日本鉄鋼連盟

(注) 在庫は前月(期)末

6. 鉄鋼輸出

—11月の全鉄鋼輸出(速報)は、前年同月比3.5%減の240万トンと2カ月ぶりの減少—

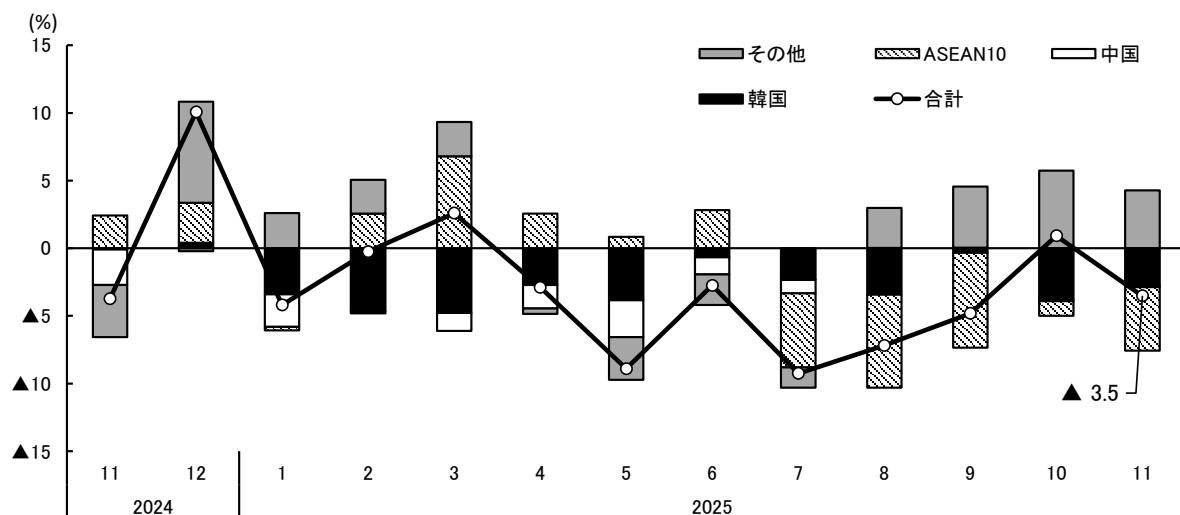
○ 11月の全鉄鋼輸出(速報)は、前年同月比3.5%減の240万トンと2カ月ぶりの減少

- 仕向け先別にみると、韓国向け(16.1%減・11カ月連続)、中国向け(2.0%減・2カ月連続)、ASEAN向け(13.2%減・5カ月連続)などが減少した。
- 11月の輸出平均単価は、全鉄鋼ベースで911ドルと前月比で15カ月連続の低下となった。

○ 10月の普通鋼鋼材輸出は、前年同月比2.9%増の175万トンと7カ月ぶりの増加

- 品種別にみると、厚中板(4.0%減)、亜鉛めっき鋼板(7.8%減)が減少したものの、熱延鋼板類(10.7%増)、冷延鋼板類(7.0%増)が増加した。

〔図29〕全鉄鋼仕向先別輸出推移

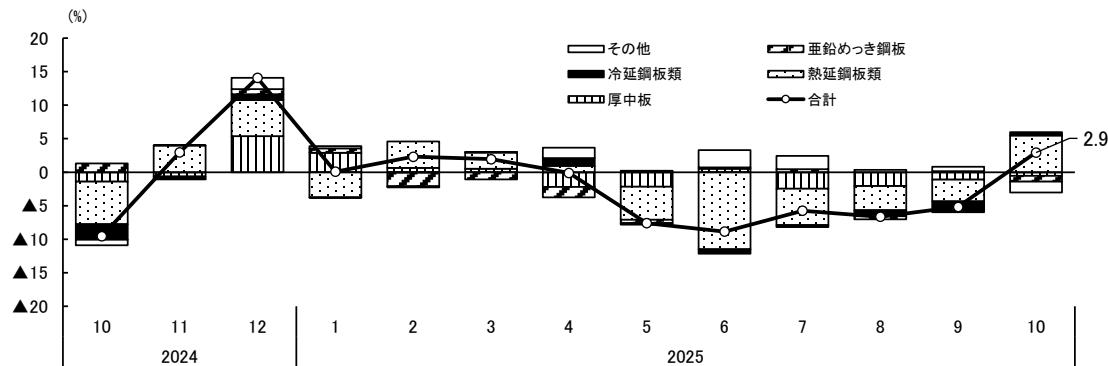


〔表12〕鉄鋼輸出総括表

	全鉄鋼	輸出数量(千トン)			金額(FOB)		平均単価			円／ドル 換算レート	
		銑鉄	鋼塊・半製品	鋼材	百万ドル	億円	ドル				
							全鉄鋼	鋼材	鋼材		
2023暦年	32,690	101	3,115	28,810	34,601	48,401	1,058.5	1,057.6	148.0	139.88	
2024暦年	31,711	132	3,142	27,808	31,371	47,403	989.3	989.9	149.6	151.10	
2024年 7-9月	8,181	26	799	7,202	8,074	12,268	986.8	986.8	150.0	151.96	
10-12月	7,829	64	738	6,864	7,475	11,247	954.8	958.1	144.2	150.46	
2025年 1-3月	7,773	42	831	6,756	7,342	11,277	944.6	946.4	145.4	153.59	
4-6月	7,493	61	748	6,535	7,085	10,296	945.6	949.1	137.9	145.31	
7-9月	7,596	25	619	6,798	7,173	10,539	944.4	944.9	138.8	146.92	
2025年 9月	2,501	9	221	2,220	2,426	3,580	969.9	970.8	143.3	147.61	
10月	2,543	25	251	2,211	2,321	3,473	912.6	917.7	137.3	149.65	
P 11月	2,401	-	-	-	2,187	3,351	910.9	-	-	153.24	
2023暦年	1.2	37.0	0.1	1.6	▲11.1	▲4.5	▲12.1	▲11.9	▲5.4	7.4	
2024暦年	▲3.0	30.9	0.9	▲3.5	▲9.3	▲2.1	▲6.5	▲6.4	1.1	8.0	
2024年 7-9月	▲0.6	85.9	5.5	▲1.3	▲4.4	1.1	▲3.8	▲3.7	1.8	5.8	
10-12月	▲0.1	375.3	▲3.7	▲0.3	▲8.1	▲7.0	▲8.0	▲7.6	▲6.5	1.2	
2025年 1-3月	▲0.6	81.4	7.5	▲1.6	▲8.4	▲4.5	▲7.9	▲7.7	▲3.8	4.2	
4-6月	▲5.0	233.9	▲10.1	▲4.9	▲9.3	▲14.7	▲4.5	▲4.1	▲9.9	▲6.0	
7-9月	▲7.2	▲5.0	▲22.6	▲5.6	▲11.2	▲14.1	▲4.3	▲4.3	▲7.4	▲3.3	
2025年 9月	▲4.8	119.3	▲1.9	▲5.4	▲8.8	▲6.7	▲4.2	▲4.0	▲1.8	2.3	
10月	0.9	▲35.5	▲3.9	2.2	▲5.8	▲3.5	▲6.7	▲6.9	▲4.6	2.5	
11月	▲3.5	-	-	-	▲8.0	▲7.8	▲4.6	-	-	0.2	
4月からの累計	20,032	111	1,618	15,544	18,766	27,659	936.8	942.7	138.2	-	
前年同期	21,073	83	1,892	16,240	20,723	31,575	983.4	1,115.8	170.0	-	
増減量	▲1,041	28	▲274	▲696	▲1,956	▲3,916	▲46.6	▲173.1	▲31.8	-	
前年同期比	▲4.9	33.1	▲14.5	▲4.3	▲9.4	▲12.4	▲4.7	▲15.5	▲18.7	-	

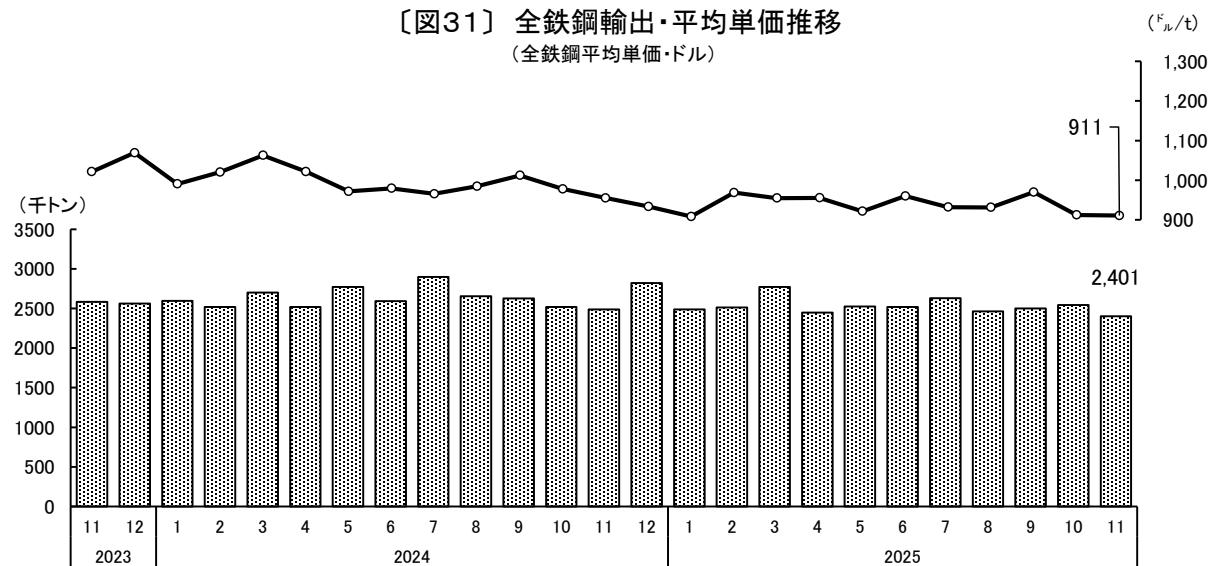
(出所) 財務省貿易統計 (注) 平均単価欄の鋼材は全鉄鋼から銑鉄、フロアロイを除いたベース。

〔図30〕普通鋼鋼材品種別輸出推移(前年同月比寄与度・%)



〔図31〕全鉄鋼輸出・平均単価推移

(全鉄鋼平均単価・ドル)



〔表13〕国別品種別輸出推移

(単位: 千トン, %)

	全鉄鋼計						普通鋼鋼材計						
	アジア	韓国	中国	ASEAN10	台湾	インド	EU	米国	メキシコ	厚中板	熱延鋼板類	冷延鋼板類	亜鉛めっき鋼板
2023暦年	22,800	5,637	2,849	10,549	1,585	1,175	2,047	1,229	1,860	22,642	2,975	12,323	1,567
2024暦年	22,769	4,783	2,673	10,403	1,763	2,082	1,364	1,210	1,870	21,779	2,793	11,890	1,492
2024年 7-9月	5,913	1,099	600	2,868	457	588	445	321	498	5,655	753	3,123	417
10-12月	5,717	1,230	641	2,694	396	448	152	258	468	5,454	692	2,928	352
2025年 1-3月	5,456	1,019	585	2,618	583	341	153	277	462	5,353	721	2,854	385
4-6月	5,268	909	591	2,625	485	235	149	255	383	5,089	630	2,743	351
7-9月	5,216	932	573	2,343	373	557	162	301	388	5,324	646	2,890	364
2025年 9月	1,754	329	181	783	134	221	49	93	129	1,720	225	896	115
10月	1,825	306	216	875	150	156	70	75	131	1,747	225	964	126
P 11月	1,675	352	189	768	-	-	-	76	-	-	-	-	-
2023暦年	▲6.2	3.8	▲27.9	▲3.2	▲12.4	38.6	17.6	▲3.1	49.5	5.8	1.4	13.4	▲6.8
2024暦年	▲0.1	▲15.1	▲6.2	▲1.4	11.2	77.2	▲33.4	▲1.5	0.5	▲3.8	▲6.1	▲3.5	▲4.8
2024年 7-9月	5.0	▲16.0	▲14.6	7.1	16.7	95.8	▲18.6	▲3.6	20.7	▲1.8	▲3.8	▲1.4	7.8
10-12月	1.8	▲2.1	▲13.9	5.3	6.4	16.8	▲62.0	▲13.4	15.1	2.2	8.8	1.5	▲9.1
2025年 1-3月	▲1.9	▲24.7	▲14.9	10.2	40.0	▲35.8	▲53.1	▲15.0	▲8.9	1.4	11.1	1.5	▲0.2
4-6月	▲5.5	▲17.4	▲20.5	6.5	▲1.7	▲54.3	▲66.3	▲16.7	▲3.4	▲5.6	▲9.8	▲9.4	3.5
7-9月	▲11.8	▲15.2	▲4.5	▲18.3	▲18.3	▲5.2	▲63.6	▲6.0	▲22.2	▲5.9	▲14.2	▲7.5	▲12.6
2025年 9月	▲8.8	▲2.6	0.7	▲19.0	▲9.3	0.0	▲58.5	▲36.4	▲26.1	▲5.2	▲8.2	▲6.1	▲20.5
10月	▲3.1	▲23.7	▲1.6	▲3.0	15.9	8.6	20.2	6.6	▲22.6	2.9	▲4.0	10.7	7.0
11月	▲7.4	▲16.1	▲2.0	▲13.2	-	-	▲7.2	-	-	-	-	-	▲7.8
4月からの累計	13,984	2,500	1,569	6,611	1,009	948	380	707	901	12,160	1,502	6,597	841
前年同期	15,183	3,022	1,756	7,119	1,080	1,246	944	779	1,064	12,744	1,686	7,021	874
増減量	▲1,199	▲522	▲187	▲509	▲71	▲298	▲564	▲72	▲162	▲585	▲185	▲424	▲43
前年同期比	▲7.9	▲17.3	▲10.6	▲7.1	▲6.6	▲23.9	▲59.7	▲9.2	▲15.3	▲4.6	▲11.0	▲6.0	▲3.7

(出所) 財務省貿易統計

(注) アジアは中東を除く。

海外市場 —10月の粗鋼生産（世界計）は前年同月比2.1%減—

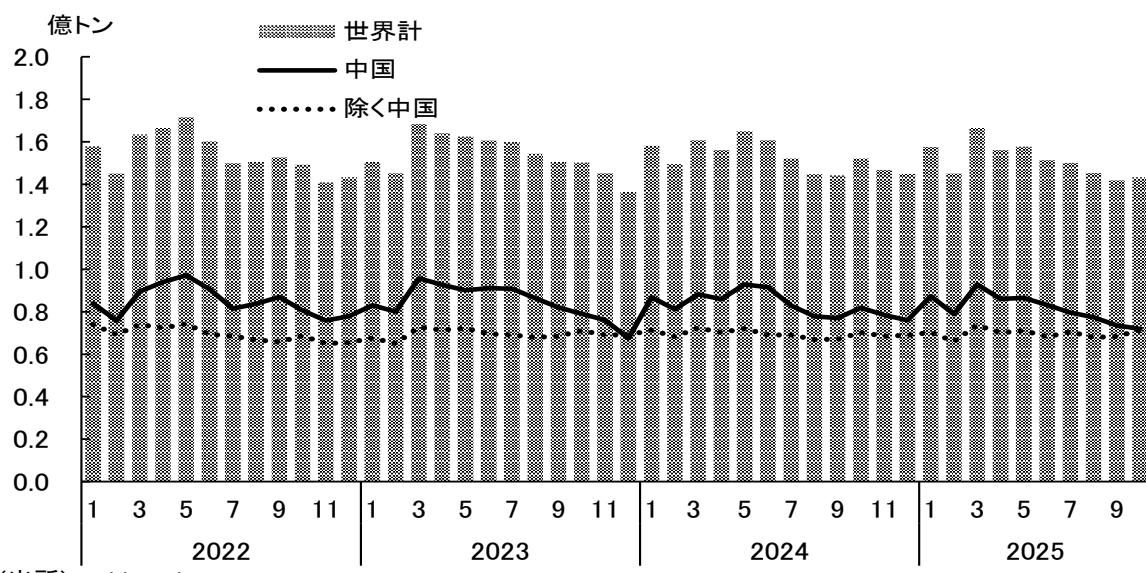
[表1]主要国の粗鋼生産

(単位:100万MT、%)

	2025年10月	前年同月比	2025年1~10月	前年同期比
日本	6.9	▲1.0	67.3	▲4.1
中国	72.0	▲12.1	817.9	▲3.9
韓国	5.0	▲7.6	51.3	▲3.3
台湾	1.4	▲5.3	14.4	▲9.6
インド	13.6	5.9	136.0	10.1
米国	7.0	9.4	68.4	2.8
ブラジル	3.0	▲2.7	28.0	▲1.8
EU27	10.8	▲3.5	105.7	▲3.4
ロシア	5.3	▲6.2	56.5	▲4.9
世界計	143.3	▲5.9	1,517.6	▲2.1

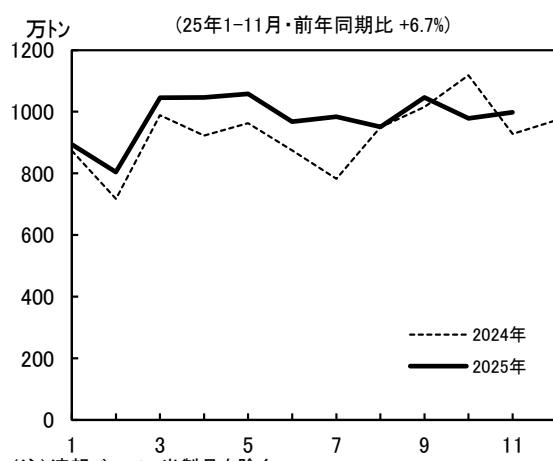
(出所)worldsteel等

[図1]世界粗鋼生産



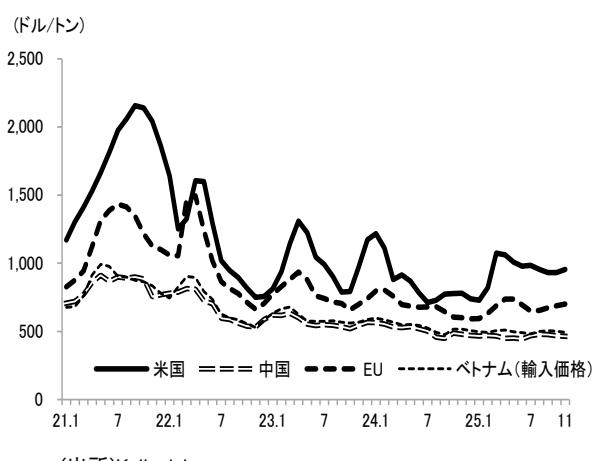
(出所)worldsteel

[図2]中国鋼材輸出



(注)速報ベース、半製品を除く
(出所)中国海関総署

[図3]熱延コイル市況推移



(出所)Kallanish

